



第4次健康なばり21計画

第2次歯と口腔の健康づくり計画

笑顔いっぱいの日
～おいしく食べて自然に体が動く～



名張市

目 次

第 1 章	計画の概要	1
1.	計画の基本的な考え方と期間	1
2.	計画の位置付け	2
第 2 章	名張市の現状と課題	3
1.	総人口の推移	3
2.	世帯の状況	5
3.	出生状況	6
4.	死亡状況	7
5.	健（検）診の状況	8
6.	医療費の状況	10
7.	介護認定の状況	11
8.	歯と口腔の状況	12
第 3 章	健康づくり推進の方針	17
1.	自然に健康になれる環境・仕組みづくり	17
2.	健康づくりと疾病予防・介護予防	20
第 4 章	歯と口腔の健康づくり推進の方針	24
	【第 2 次歯と口腔の健康づくり計画】	
1.	歯と口腔の健康づくりを推進する方向性と課題	24
2.	一生涯を通じた歯と口腔の健康づくり	24
第 5 章	名張市 15 地域づくり組織の健康づくり	29
1.	名張地域	31
2.	鴻之台・希央台地域	32
3.	蔵持地域	33
4.	川西・梅が丘地域	34
5.	薦原地域	35
6.	美旗地域	36
7.	比奈知地域	37
8.	すずらん台地域	38
9.	つつじが丘・春日丘地域	39
10.	錦生地域	40
11.	赤目地域	41

12.	箕曲地域	42
13.	青蓮寺・百合が丘地域	43
14.	国津地域	44
15.	桔梗が丘地域	45
第6章	計画推進のために	46
1.	計画の推進体制と管理、運用	46

第1章 計画の概要

1. 計画の基本的な考え方と期間

この計画は、健康増進法(平成14年法律第103号)第7条第1項の国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針の理念に基づき、同法第8条第2項に規定する市町村健康増進計画及び名張市歯と口腔の健康づくり推進条例第8条に基づく、市民の生涯にわたる歯と口腔の健康づくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進する計画を一体的に策定するものです。

本市では、平成17年にヘルスプロモーションの理念の下に、市民一人ひとりが主体的に自ら健康づくりに取り組めるような仕組みや環境づくりを中心とした「健康なばり21計画」(1次計画)を、また、平成22年には、個々の立場や健康状態に応じた、効果的な健康づくりを目的に、「第2次健康なばり21計画」を、さらに、平成27年には、市民自らの健康づくりはもとより、地域づくり組織や地域支えあい、まちの保健室の仕組みを生かして、一生涯を通じた健康づくりを推進する計画として、「第3次健康なばり21計画」を策定し、健康づくりに関する様々な取組を推進してきました。

今回、「第4次健康なばり21計画」の策定に当たっては、令和元年5月に国が策定した健康無関心層も含め、自然に健康になれる環境づくりを盛り込んだ「健康寿命延伸プラン」を踏まえ、市民の目指す健康像については、『笑顔いっぱい毎日』～おいしく食べて自然に体が動く～』という1次計画当初に立ち返り、健康無関心層も含めた疾病予防・健康づくりを推進します。

なお、計画期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間とします。

2. 計画の位置付け

この計画は、「名張市総合計画」に従って、本市の健康づくりの推進に関する施策の総合的な指針を定めるものです。

名張市総合計画 <将来都市像>

豊かな自然と文化に包まれて 誰もが元気で幸せに暮らせるまち 名張

地域福祉計画 <理念>

ともに生き ともに創る 心ふれあう幸せのまち 名張

健康なばり 21 計画 <市民のめざす健康像>

笑顔いっぱい毎日

～おいしく食べて自然に体が動く～

第2章 名張市の現状と課題

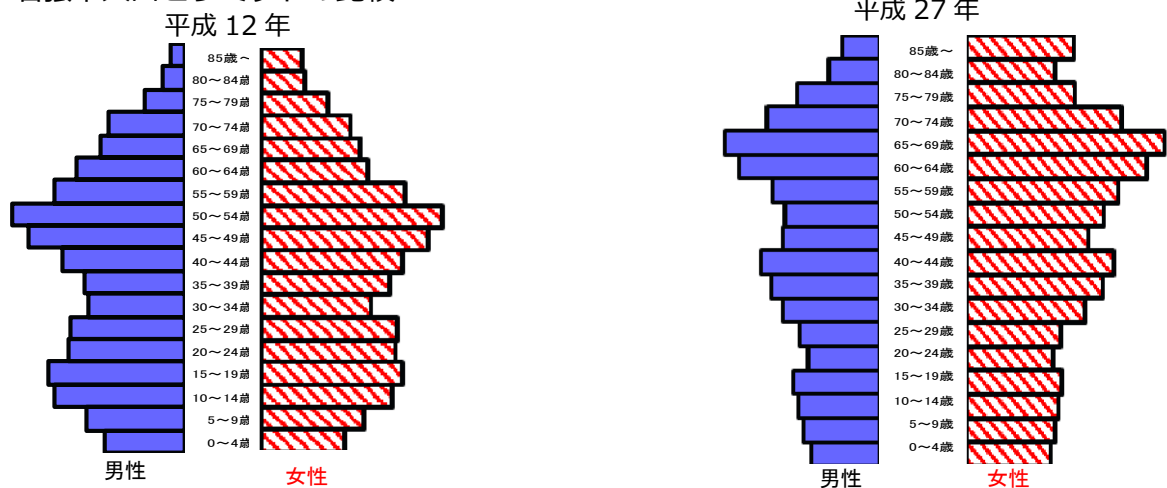
1. 総人口の推移

平成27年の国勢調査による本市の人口は、78,795人となっています。平成12年の83,291人をピークに、減少傾向をたどり、令和7年には平成27年に比べ、5,000人以上減少することが見込まれています。

高齢化率(65歳以上の高齢者人口の占める割合)は継続して上昇しており、平成12年の14.9%から平成27年には28.2%となり、令和7年には全国より早く35%を超えることが見込まれています。

一方、14歳以下の人口比率は、平成27年の12.8%から、令和7年には11.9%に低下すると見込まれています。

図1 名張市人口ピラミッドの比較



※国勢調査より

表1 人口推移①

	名張市の推計人口	平成12年	平成27年	令和7年	令和22年
名張市	総人口(人)	83,291	78,795	73,582	61,166
	高齢化率(%)	14.9	28.2	35.1	39.6
三重県	総人口(人)	1,857,339	1,815,865	1,709,820	1,503,635
	高齢化率(%)	18.9	27.9	31.2	36.9
全国	総人口(人)	126,925,843	127,094,745	122,544,103	110,918,555
	高齢化率(%)	17.3	26.6	30.0	35.3

※平成12年、平成27年は国勢調査より

※令和7年、令和22年は国立社会保障・人口問題研究所 『日本の地域別将来推計人口』(平成30年3月推計)より

表2 人口推移②

	平成 27 年	令和 2 年	令和 7 年	令和 12 年	令和 17 年	令和 22 年	令和 27 年
推計人口 (人)	78,795	76,584	73,582	69,929	65,699	61,166	56,667
総人口指数 平成 27 年	100.0	97.2	93.4	88.7	83.4	77.6	71.9
年少人口割合 (%)	12.8	12.3	11.9	11.3	10.7	10.4	10.1
生産年齢人口割合 (%)	58.9	55.0	53.0	52.2	51.9	50.1	48.6
老年人口割合 (%)	28.2	32.6	35.1	36.6	37.4	39.6	41.4
75 歳以上人口割合 (%)	12.2	15.4	20.1	23.2	24.4	24.8	24.8

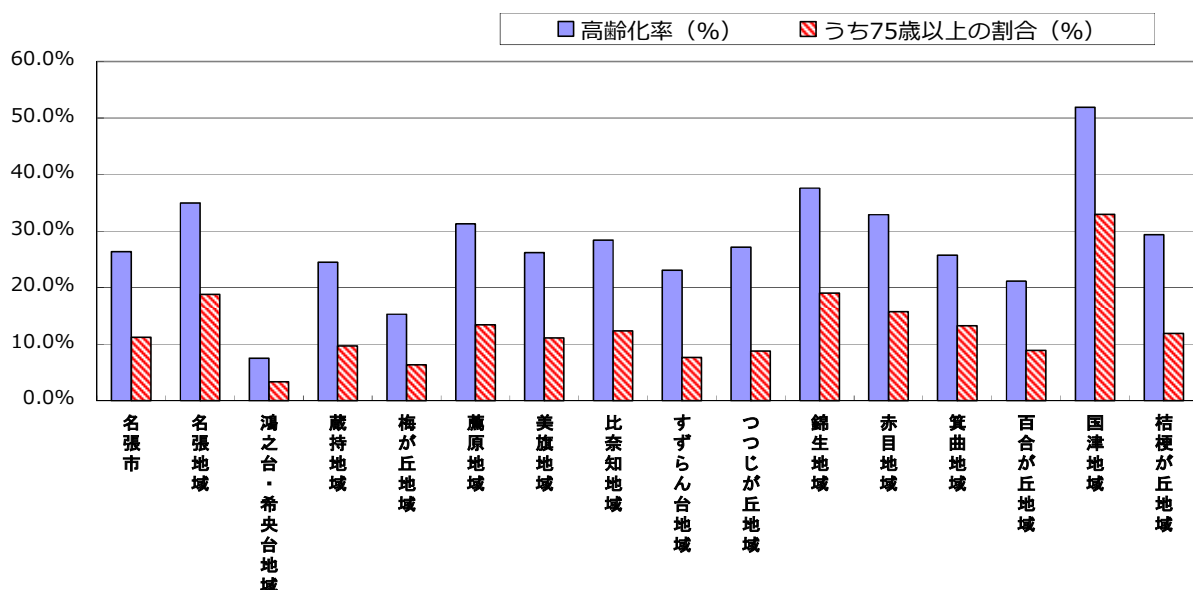
※平成 27 年は国勢調査、令和 2 年以降は国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成 30 年 3 月推計）より

表3 15 地域別高齢化率と 75 歳以上人口の割合

	人口 (人)	65 歳以上 (人)	75 歳以上 (人)	高齢化率 (%)	うち 75 歳以上 の 割 合 (%)	55~64 歳 (人)
名張市	78,553	24,961	11,662	31.8%	14.8%	10,237
名張地域	6,236	2,210	1,306	35.4%	20.9%	672
鴻之台・希央台地域	2,789	241	123	8.6%	4.4%	185
蔵持地域	3,574	1,018	465	28.5%	13.0%	385
川西・梅が丘地域	6,805	1,636	576	24.0%	8.5%	1,463
薦原地域	2,041	731	344	35.8%	16.9%	242
美旗地域	8,049	2,621	1,148	32.6%	14.3%	1,098
比奈知地域	4,898	1,687	795	34.4%	16.2%	560
すずらん台地域	3,660	1,146	412	31.3%	11.3%	561
つつじが丘・春日丘地域	10,791	3,656	1,559	33.9%	14.4%	1,258
錦生地域	1,594	714	379	44.8%	23.8%	231
赤目地域	3,672	1,428	727	38.9%	19.8%	524
箕曲地域	2,751	876	438	31.8%	15.9%	351
青蓮寺・百合が丘地域	7,352	2,064	855	28.1%	11.6%	1,117
国津地域	585	347	217	59.3%	37.1%	83
桔梗が丘地域	13,756	4,586	2,318	33.3%	16.9%	1,507

※平成 31 年 4 月 1 日現在 (年齢基準日平成 30 年 10 月 1 日)

図2 15 地域別高齢化率と 75 歳以上の割合



※平成 31 年 4 月 1 日現在 (年齢基準日平成 30 年 10 月 1 日)

2. 世帯の状況

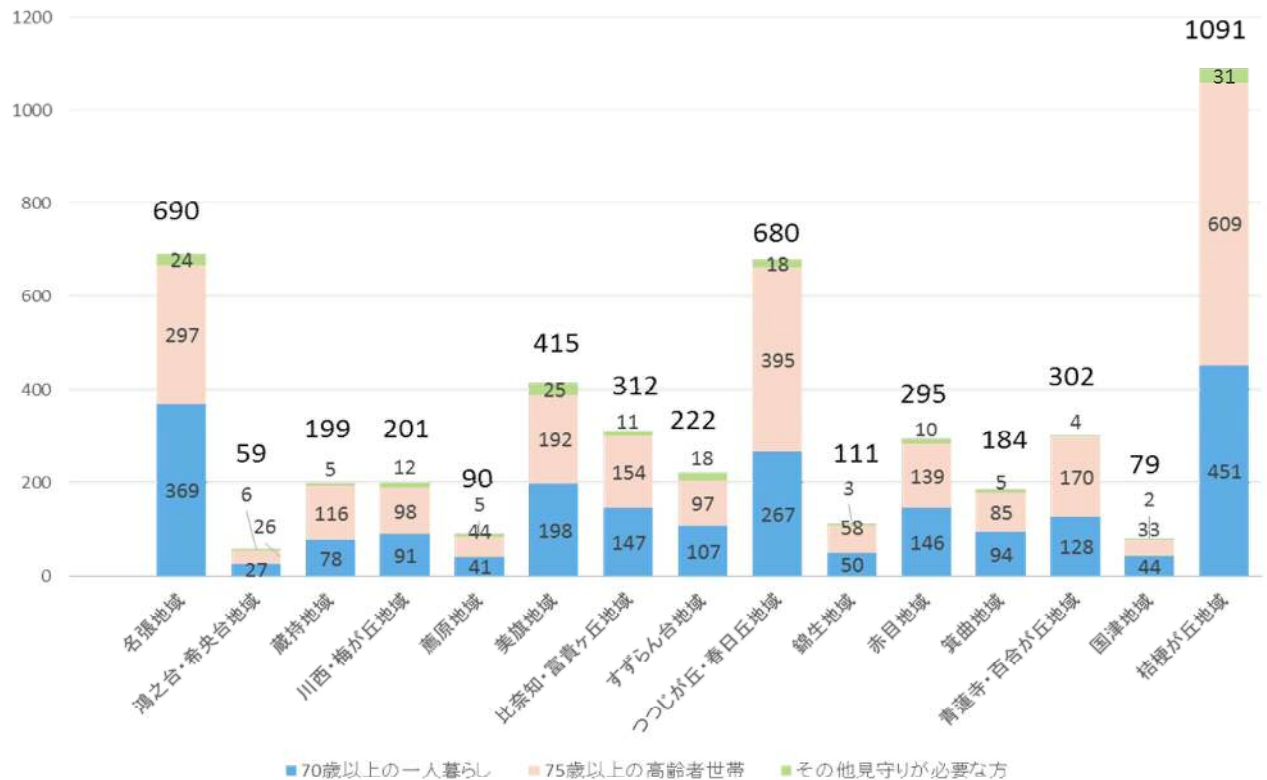
平成27年の国勢調査による本市の一般世帯数は30,540世帯となっており、人口の減少傾向が続く中、世帯数は増加傾向にあり、1世帯当たりの人数が減少しています。

表4 世帯の状況

	平成12年	平成22年	平成27年
名張市	26,683	29,445	30,540
三重県	635,382	703,237	718,934
全国	46,782,383	51,842,307	53,331,797

※国勢調査より

図3 15地域別の高齢者世帯調査状況



※名張市・名張市民生委員児童委員協議会連合会 名張市高齢者等実態調査（平成30年10月・11月実施）より

3. 出生状況

(1) 合計特殊出生率

本市の合計特殊出生率は、1.45前後で推移しています。

表5 合計特殊出生率（直近5年の推移）

合計特殊出生率	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
名張市	1.45	1.45	1.43	1.47	—
三重県	1.45	1.56	1.51	1.49	1.54
全国	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42

※保健所年報より

※合計特殊出生率とは、女性の年齢別出生率の合計で、一人の女性がその年の年齢別出生率で一生の間に産むとした時の子どもの数を表す。

(2) 出生数

本市における出生数は、平成29年までの数年間は、約560人から600人までで推移していましたが、平成30年には500人を割り込み、486人となっています。

表6 年次別人口動態（直近5年の推移）

（単位：人）

年次	自然増減		社会増減			
	出生	死亡	転入		転出	
			県内	県外	県内	県外
平成26年	588	768	713	1,443	668	1,901
平成27年	595	774	742	1,498	657	1,968
平成28年	567	818	647	1,533	634	1,872
平成29年	561	816	666	1,422	605	1,910
平成30年	486	807	711	1,607	637	1,800

※数値は各年1月1日～12月31日間の人口動態を表す。

※名張市統計資料編2019年版より

4. 死亡状況

(1) 死亡者数

本市における死亡者数は、近年、表6で示すように800人前後で推移しています。

(2) 主要な死因

直近5年間(平成25年～29年)の平均でみた死因別の年齢調整死亡率は、県全体と比較すると悪性新生物と糖尿病で高くなっていますが、他の死因については低い状況です。

表7 年齢調整死亡率

人口10万対

死因	男性		女性	
	名張市	三重県	名張市	三重県
悪性新生物	162.4	156.6	85.4	80.7
心疾患	54.8	65.8	30.5	34.7
脳血管疾患	31.3	36.4	18.3	21.8
交通事故	5.2	6.5	1.7	2.0
肝疾患	7.4	7.6	2.9	3.0
糖尿病	6.6	5.5	2.7	2.6
高血圧	0.2	1.5	0.7	1.4

直近5年間（平成25年～29年）の平均からみた死因別の年齢調整死亡率

※平成30年度版三重の健康指標より

5. 健（検）診の状況

（1）がん検診の状況

平成 22 年度から平成 30 年度におけるがん検診受診率の推移は表 8 のとおりです。平成 24 年度から生活習慣病予防重点プロジェクトを始動し、地域づくり組織との協働による地域での集団がん検診や特定健康診査(以下「特定健診」という。)とがん検診の同時実施など検診体制を整備しました。

表 8 がん検診受診率（平成 22 年度からの推移）

検診種類	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
胃がん	7.8%	8.2%	12.5%	14.6%	16.1%	16.3%	17.0%	15.5%	15.0%
大腸がん	9.0%	8.1%	16.3%	18.6%	20.3%	22.8%	22.2%	23.3%	23.6%
肺がん	9.8%	15.1%	26.1%	29.6%	31.6%	32.9%	32.1%	33.7%	31.7%
乳がん	13.5%	17.9%	17.7%	17.3%	21.4%	21.1%	23.8%	19.9%	19.2%
子宮がん	13.9%	16.0%	19.2%	24.0%	26.6%	24.1%	24.7%	22.3%	22.3%

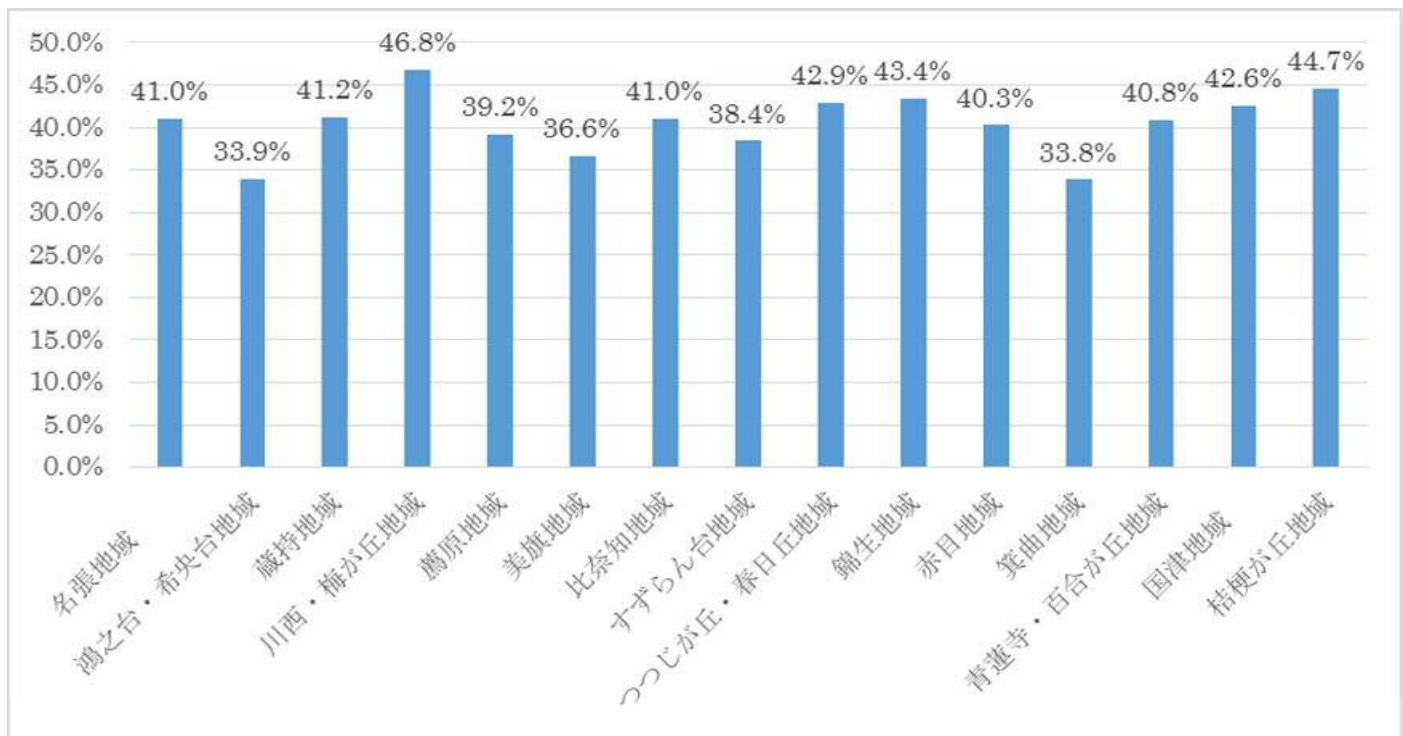
（2）国民健康保険被保険者における特定健診の状況

特定健診受診率は、平成 20 年度から平成 23 年度までは、25%から 27%前後で推移していましたが、平成 24 年度に開始した生活習慣病予防重点プロジェクトにより受診率は向上し、平成 29 年度以降は 40%台になっています。

表 9 特定健診受診率（平成 20 年度開始からの推移）

平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
25.4%	24.2%	26.9%	27.0%	33.8%	35.7%	35.5%	37.7%	38.9%	40.9%	42.4%

図4 特定健診受診率(平成30年度15地域別)



(3) 特定保健指導の状況

健診結果から自らの健康状態を把握し、生活習慣改善のための行動目標を自ら設定、実施できるよう、保健師等による個人の特性やリスクに配慮した支援として、積極的支援と動機付け支援を行っています。

表10 特定保健指導実施率(直近5年の推移)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年
積極的支援	15.9%	22.5%	18.6%	16.9%	21.7%
動機付け支援	7.5%	13.8%	7.0%	10.4%	16.5%

※法定報告より抜粋

6. 医療費の状況

一人当たり費用額は年々増加しています。今後、高齢化が進展することで、更に医療費が増大することが見込まれます。

表 11 国民健康保険一人当たり費用額（直近 5 年の推移）

	名張市（円）	対前年度比（％）	三重県（円）	対前年度比（％）
平成 25 年度	334,064	104.43	331,810	103.54
平成 26 年度	348,607	104.35	342,085	103.10
平成 27 年度	371,789	106.65	361,475	105.67
平成 28 年度	371,000	99.79	364,118	100.73
平成 29 年度	373,809	100.76	378,517	103.95

各年 3 月～翌年 2 月

※三重県における国民健康保険事業の実態より

表 12 後期高齢者医療一人当たり費用額（直近 5 年の推移）

	名張市（円）	対前年度比（％）	三重県（円）	対前年度比（％）
平成 25 年度	765,385	101.00	814,427	101.37
平成 26 年度	802,235	104.81	817,468	100.37
平成 27 年度	817,231	101.87	835,653	102.22
平成 28 年度	806,109	98.64	830,467	99.38
平成 29 年度	809,650	100.44	845,895	101.86

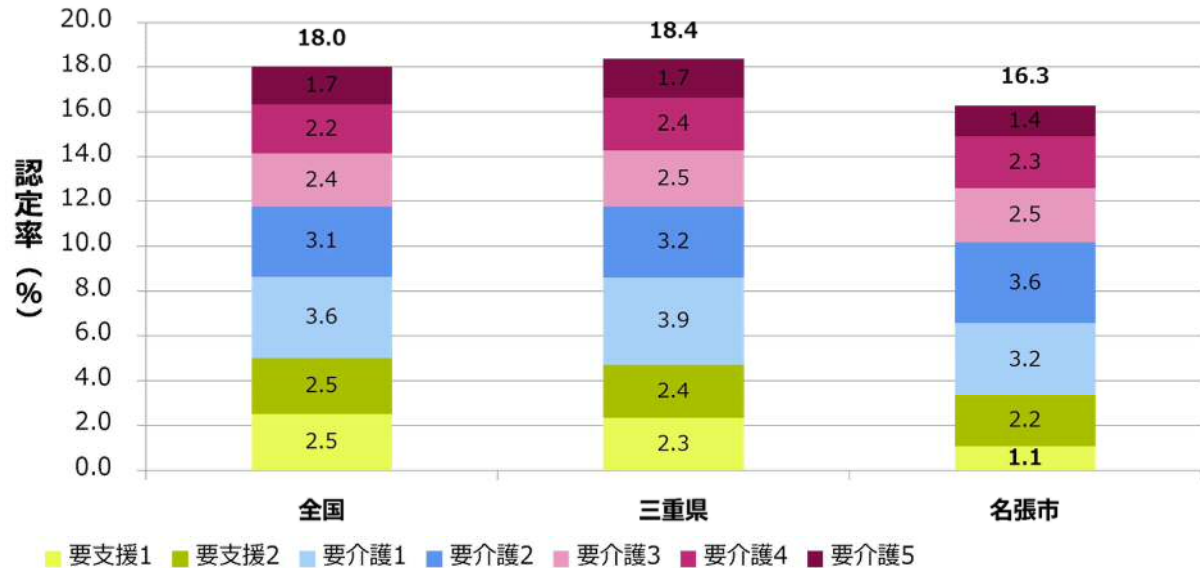
各年 3 月～翌年 2 月

※「国民健康保険・後期高齢者医療制度・介護保険財政の安定を求めて」より

7. 介護認定の状況

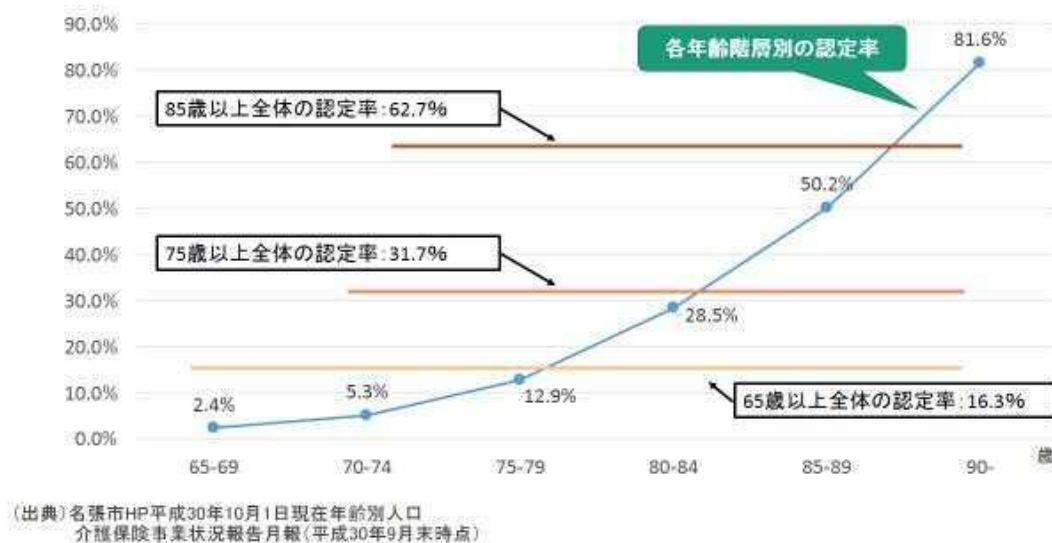
平成30年9月末現在の要介護認定者数(第1号被保険者)は4,018人で、認定率は16.3%と全国や三重県に比べ、低い状況です。しかし、85歳以上の認定率は62.7%となり、高齢化が進展する中では、健康寿命の延伸を図ることが重要となります。

図5 要介護度別認定率



(出典) 要介護(要支援)認定者数: 厚生労働省 介護保険事業状況報告月報(平成30年9月)
 高齢者人口(全国・三重県): 総務省統計局 人口推計(平成30年10月1日現在)
 高齢者人口(名張市): 名張市HP 年齢別人口(平成30年10月1日現在)

図6 年齢階級別の要介護認定率の推移



8. 歯と口腔の状況

(1) 妊婦歯科健診の状況

平成27年より開始した妊婦歯科健診の受診率は、初産婦・経産婦とも開始年度に比べ向上しています。そうした中、初産婦に比べて経産婦の受診率が低い状況です。

表13 妊婦歯科健診の受診者数（開始より3年間）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	初産婦	経産婦	初産婦	経産婦	初産婦	経産婦
妊娠届出数	253	310	243	287	192	309
妊婦歯科健診 受診者数	96	63	94	72	90	78
受診率	37.9%	20.3%	38.7%	25.1%	46.9%	25.2%

※平成27年は途中開始のため、統計より除く。

(2) 1歳6か月児に対する仕上げみがきをする親の割合

1歳6か月児健診の間診票において「保護者が毎日仕上げみがきをしていますか」の質問に対し、「仕上げみがきをしている（子どもがみがいた後、保護者が仕上げみがきをしている）」「子どもが自分でみがかずに、保護者だけでみがいている」の割合は、年々向上していますが三重県より低い状況となっています。

表14 1歳6か月児の仕上げみがきをする親の割合（調査開始より4年間）

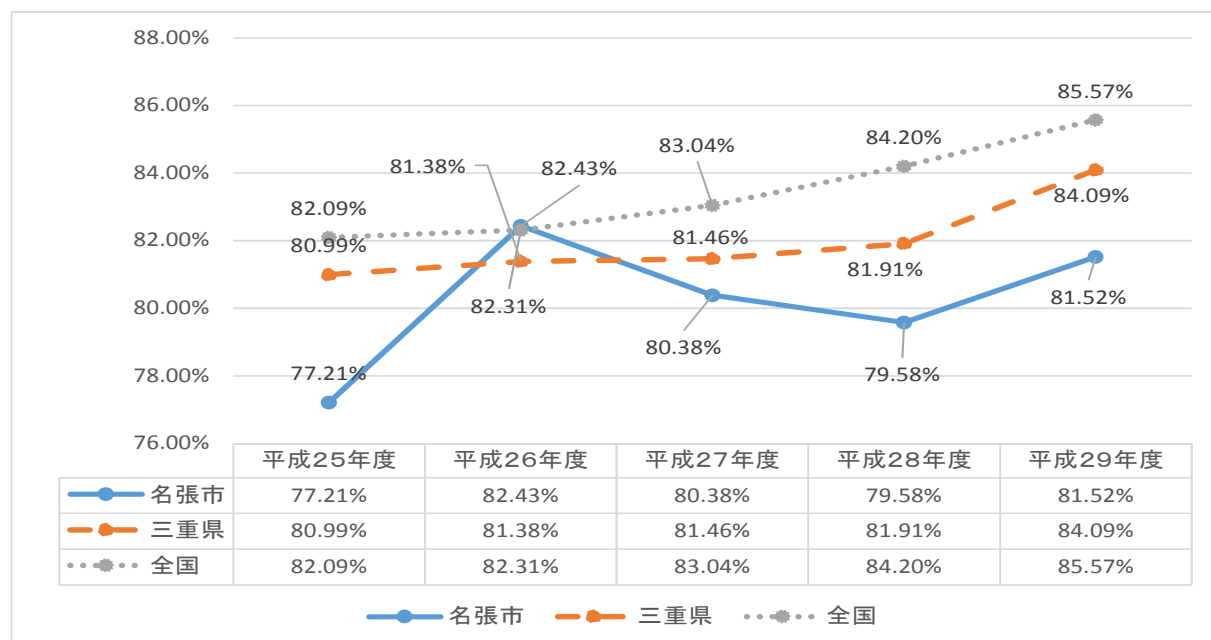
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
名張市	91.3%	91.8%	93.1%	94.2%
三重県	92.8%	93.3%	95.2%	94.9%

※健やか親子21（第2次）の指標に基づく乳幼児健康診査必須問診項目より

(3) 3歳6か月児のむし歯の状況

むし歯のない3歳6か月児の割合は、平成29年度は、81.52%で全国、三重県に比べて低い状況となっています。

図7 3歳6か月児のむし歯のない割合（直近5年の推移）



(4) 12歳児のむし歯の状況

むし歯のない12歳児の割合は、平成29年度は、72.03%で、全国、三重県に比べて高い状況です。また、一人当たりの平均むし歯数は、全国、三重県に比べて少ない状況となっています。

図8 12歳児のむし歯のない割合（直近5年の推移）

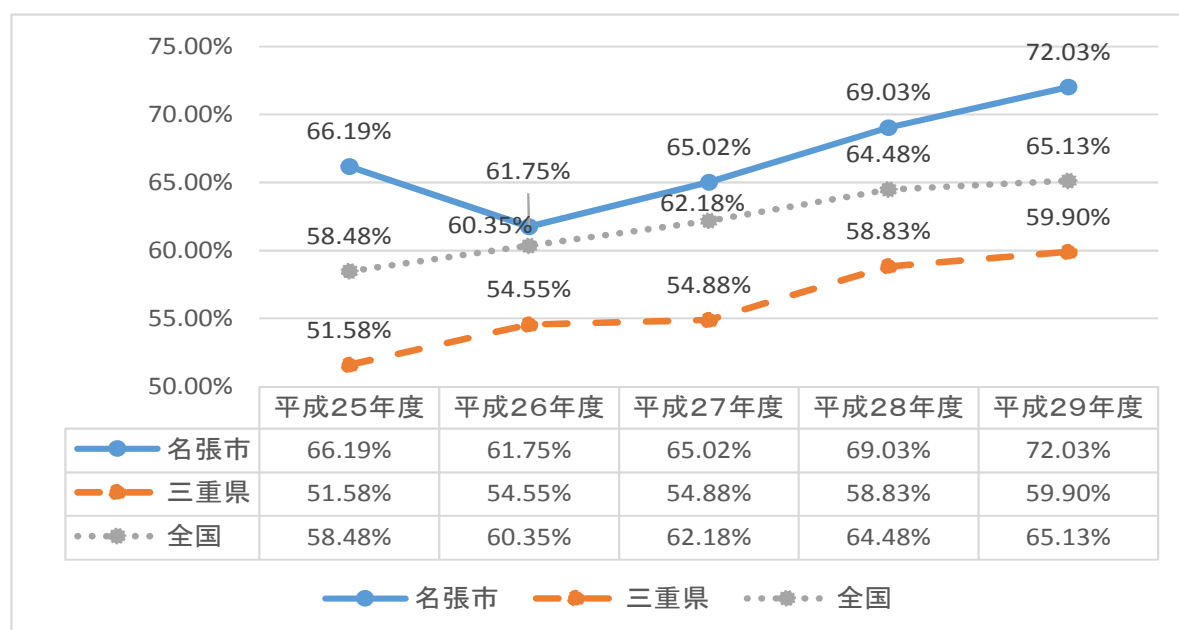


表15 12歳児の一人平均むし歯数（直近5年の推移）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
名張市	0.67本	0.75本	0.76本	0.57本	0.43本
三重県	1.28本	1.14本	1.19本	0.98本	0.96本
全国	1.05本	1.00本	0.90本	0.84本	0.82本

（5）歯周疾患検診受診率の状況

健康を維持し、食べる楽しみを享受できるよう歯の喪失を防ぐことを目的に、平成21年度より開始した40歳、50歳、60歳、70歳の節目年齢を対象とした歯周疾患検診の受診率は、全体の15%前後で推移しています。なお、平成29年度から新たに55歳、65歳を対象者に加えて実施しているため受診者は増加していますが、受診率に変化はない状況です。

表16 年代別の歯周疾患検診受診率（直近5年の推移）

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
全体	受診者数	688 (4,433)	604 (4,000)	616 (4,166)	1,055 (6,917)	907 (6,816)
	受診率 (%)	15.5%	15.1%	14.8%	15.3%	13.3%
40歳	受診者数	165 (1,140)	169 (1,130)	139 (1,063)	152 (1,088)	115 (1,023)
	受診率 (%)	14.5%	15.0%	13.1%	14.0%	11.2%
50歳	受診者数	145 (964)	102 (881)	99 (768)	114 (958)	111 (951)
	受診率 (%)	15.0%	11.6%	12.9%	11.9%	11.7%
55歳	受診者数				127 (934)	131 (911)
	受診率 (%)				13.6%	14.4%
60歳	受診者数	173 (1,267)	166 (1,115)	167 (1,099)	155 (1,022)	122 (1,092)
	受診率 (%)	13.7%	14.9%	15.2%	15.2%	11.2%
65歳	受診者数				212 (1,301)	176 (1,238)
	受診率 (%)				16.3%	14.2%
70歳	受診者数	205 (1,062)	167 (874)	211 (1,236)	295 (1,614)	252 (1,601)
	受診率 (%)	19.3%	19.1%	17.1%	18.3%	15.7%

（ ）は対象者数

(6) 後期高齢者歯科健康診査の状況

三重県後期高齢者医療広域連合による75歳、80歳の歯科健康診査の本市の受診者数は年々増加しており、受診率も伸びています。平成29年度からは、本市独自の取組として、76歳、77歳の歯科健康診査も実施しています。なお、要介護3以上の希望者に実施している後期高齢者在宅訪問歯科健診の平成30年度の受診者は19人となっています。

表 17 後期高齢者歯科健康診査の受診率（直近5年の推移）

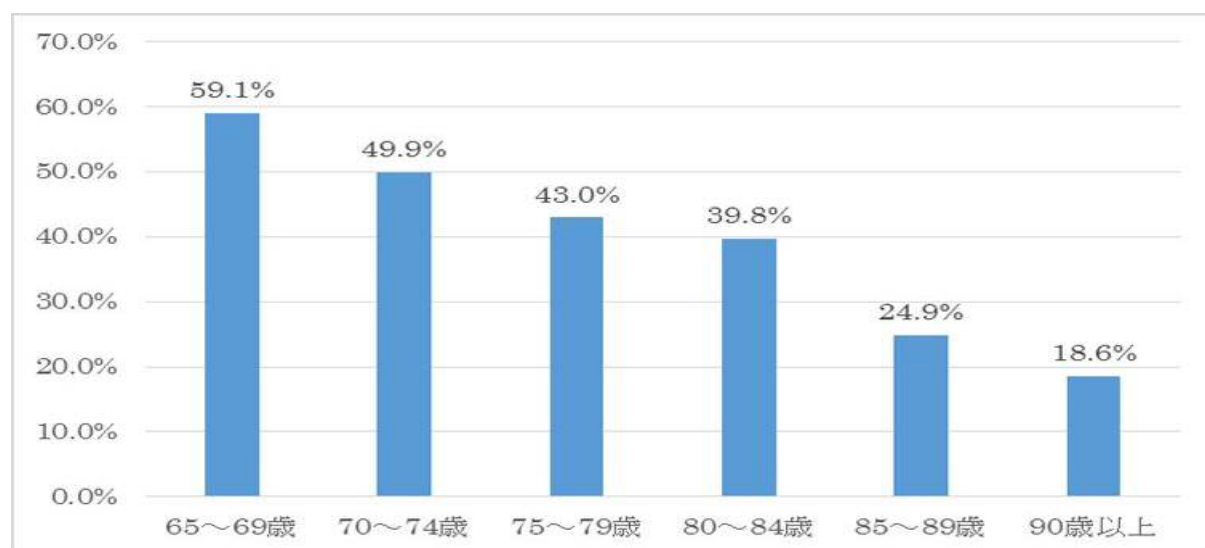
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
全体	受診者数	236(1,390)	274(1,423)	314(1,618)	714(3,447)	723(3,713)
	受診率 (%)	17.0%	19.3%	19.4%	20.7%	19.5%
75歳・80歳	受診者数	236 (1,390)	274 (1,423)	314 (1,618)	376 (1,728)	389 (1,753)
	受診率 (%)	17.0%	19.3%	19.4%	21.8%	22.2%
76歳	受診者数				196 (950)	193 (1,048)
	受診率 (%)				20.6%	18.4%
77歳	受診者数				142 (769)	141 (912)
	受診率 (%)				18.5%	15.5%

()は対象者数

(7) 歯と口腔に関わる調査結果

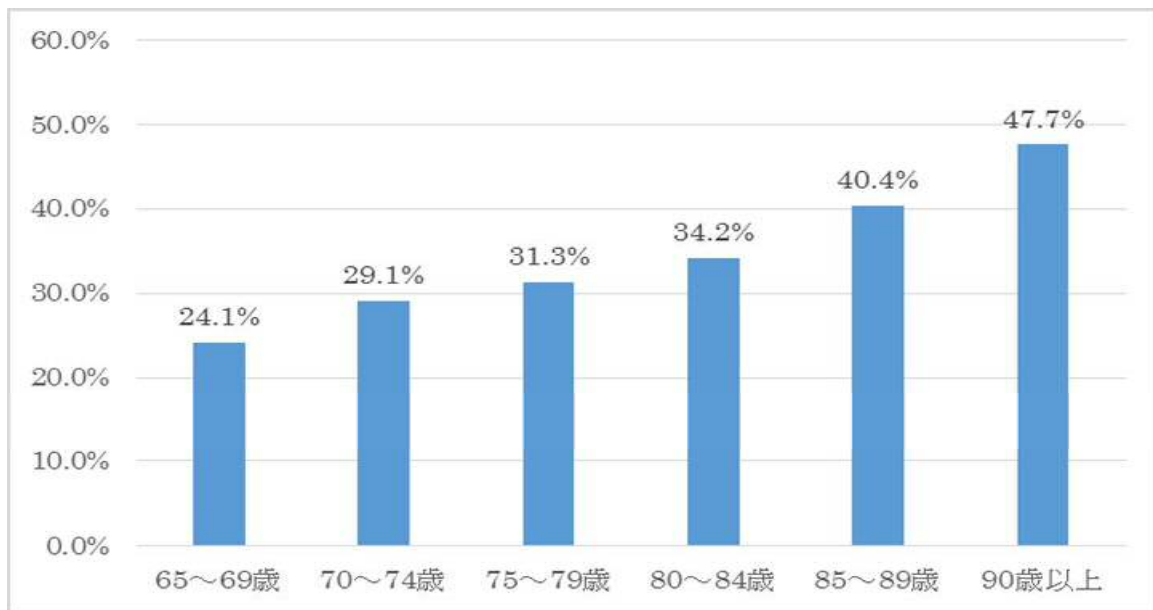
年齢が高くなるほど、20本以上自分の歯がある人の割合が減っています。また、固いものが食べにくくなった者の割合は、年齢が上がるほど高くなっています。

図9 自分の歯が20本以上ある年代別割合



※介護予防・日常生活圏域二エズ調査

図10 半年前に比べて固いものが食べにくくなった者の年代別割合



※介護予防・日常生活圏域二エズ調査

【介護予防・日常生活圏域二エズ調査】

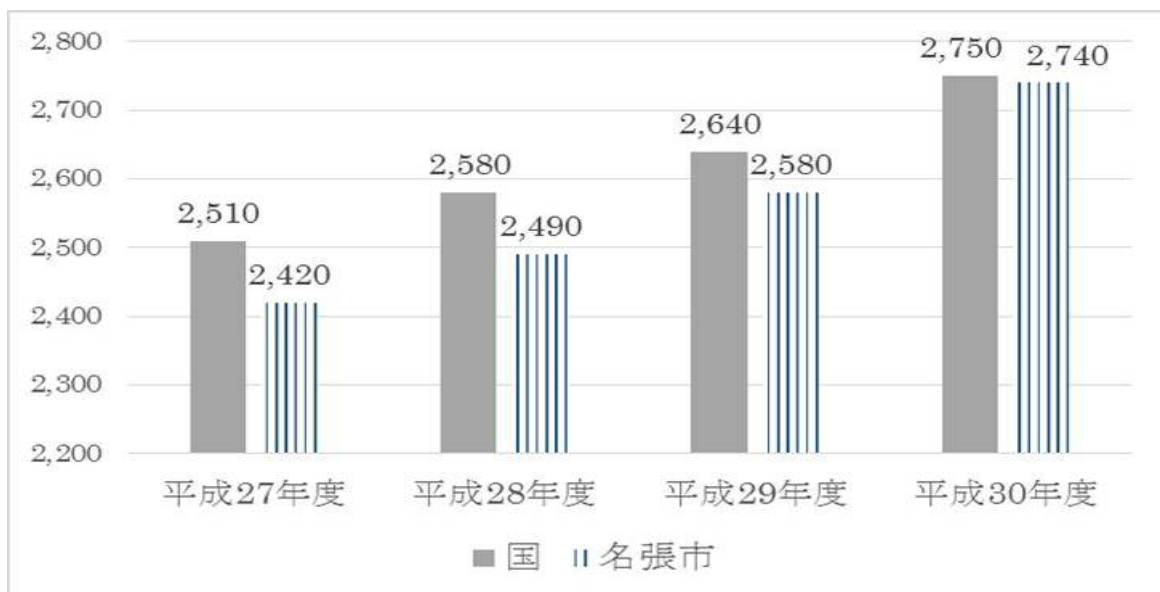
- ◆「名張市高齢者保健福祉計画（第7次改訂）・介護保険事業計画（第6次改訂）」の策定のため実施した調査
- ◆調査対象は要介護認定を受けていない名張市内に住民登録がある65歳以上高齢者から、日常生活圏域の人口割合等に応じて無作為に抽出した3,035人

(8) 歯科にかかる後期高齢者一人当たりの費用額の状況

後期高齢者医療の歯科にかかる月平均一人当たり費用額は、平成30年度は2,740円で年々増加傾向にあります。

図11 後期高齢者医療の歯科一人当たり費用額（月平均）

(単位：円)



※KDBより

第3章 健康づくり推進の方針

1. 自然に健康になれる環境・仕組みづくり

健康づくりは市民一人ひとりによる理解と実践が重要です。そうした中、近年の研究では、健康を左右する決定的な原因の一つは、社会的な要因であり個人の努力だけが問題ではないとも言われています。そこで、地域やボランティア、民間団体等の協力を得て、名張市全体で健康な食事や運動ができる環境整備を行います。また、誰もが集える居場所づくりや社会参加の推進によって役割を担ったり、人や社会と関わりを持つことで、健康に関心がなくても、健康になれる環境の整備を図ります。

(1) 健康な食事や運動ができる環境・仕組みづくり ～幅広い関係者が一体となって取り組む体制の構築と強化

健康な食事や運動ができる環境や仕組みは、運動や飲食等の団体・関係者・企業を始め、医療や介護の関係者、市民団体やNPO、ボランティアなど、幅広い関係者と行政が一体となって取り組む体制の構築が必要です。その上で、例えば、居心地がよく歩きたくなるような散歩道や体を動かしたくなるような芝生広場、公園のあるまちなど、自然に体を動かしたくなる環境づくりに努めます。また、適切な栄養や食生活に関する情報、運動ができる場所や団体、NPO、企業等に関する情報提供やアクセスしやすい情報環境の整備を行います。

施策の展開

- 民間の運動施設や地域等で実施している運動教室の情報など、運動がより身近で手軽に実践できるよう、個人のライフスタイルに合わせた情報提供に努めます。
- 多様な主体と協働して居心地がよく歩きたくなるような散歩道や体を動かしたくなるような芝生広場、公園等の環境整備に努めます。

- 三重県が募集・登録している「健康づくり応援の店（栄養成分の表示やヘルシーサービスの提供、健康情報の発信に取り組んでいる店）」等についての情報発信を強化します。
- 地域づくり組織の健康部会等や市民センター主催事業等で、健康な食事や運動の取組を進めることのできる、まちじゅう元気!! リーダー等の人材育成や活動支援の継続・強化を図ります。

（２） 居場所づくりや社会参加 ～地域づくり組織、食ボランティア等との協働

健康寿命の延伸のためには、栄養バランスのよい食事と適度な運動により生活習慣病を予防することが重要です。加えて近年では、社会参加を行うことが、運動習慣と同じくらい高齢者の死亡率の低下に影響するという研究結果があります。また、高齢者の社会参加が体・認知機能の低下を抑制し、健康への好影響を与えることを示唆する報告もあります。

社会参加についての統一した定義はありませんが、就労やボランティア活動、自己啓発活動、友人や隣人等とのインフォーマルな交流、要介護期の通所型サービスの利用など、個々の生活機能に応じた社会参加活動ができるように、地域づくり組織や食ボランティア等の多様な主体との協働により、居場所づくりや社会とのつながり支援、参加の支援等に努めます。さらに、イベント等への参加促進を図るためのポイントを付与する名張ケンコー！マイレージの継続、拡大を図ります。

施策の展開

- 名張ケンコー！マイレージの周知啓発とともに、地域づくり組織や多様な関係団体とも連携しながら対象イベントを増やし、健康以外の切り口からも社会参加しやすい環境をつくれます。
- まちじゅう元気!! リーダーや地域づくり組織、名張市食生活改善推進協議会、名張市ボランティア楽食会（※1）など、多様な主体と連携、協働して、居場所づくりや社会とのつながり支援に努めます。また、まちじゅう元気!! リーダー等が生きがいや役割をもって、いきいきと活動できるよう支援します。
- 高齢者の就労や様々なボランティア活動、自己啓発活動など、社会参加活動の推進について、分野横断的、総合的に協議する場を庁内に設けて社会参加の推進に努めます。

（※1）「名張市食生活改善推進協議会」「名張市ボランティア楽食会」は事務局が名張市役所内にあるボランティア団体

2. 健康づくりと疾病予防・介護予防

高齢化や社会生活環境の急激な変化等に伴って、糖尿病、がん、心臓病、脳卒中に代表される生活習慣病の増加が問題となっています。そこで、次世代を含めた全ての人の健やかな生活習慣の形成に取り組み、疾病予防や重症化予防に努めます。また、高齢期の介護予防やフレイル（※2）・認知症対策を中心とした取組を行い、健康寿命の更なる延伸を図ります。

（※2）フレイルとは、高齢者の虚弱を表し、要支援・要介護の危険が高い状態のこと

（1）次世代を含めた全ての人の健やかな生活習慣形成

生涯を通じて健やかに生活をするためには、母親のおなかにいる時や子どもの頃からの健康が重要です。妊産婦の食生活指針に基づく食生活支援を始め、子どもの頃からの早寝、早起き、朝ごはんを基本とした食習慣や健やかな生活習慣の形成を支援することにより、生活習慣病の予防に努めます。

子どもたちを取り巻く社会環境は、核家族化の進展、ひとり親家庭の増加、所得格差や個人意識の拡大、SNS の普及等の情報化の進展など大きな変化が生じています。新たに依存症の国際疾病分類となったゲーム障害も含めた個々の事例への対応や睡眠の重要性等を学校、地域とも連携しながら啓発していきます。

また、ライフステージに応じた健康づくりを推進し、自分の体に関心をもち、生活習慣の改善ができるように支援します。

目標値

	現状値(平成 30 年度)	目標値(令和 6 年度)
①児童生徒の肥満傾向児の割合	7.9%	6.0%
②朝食を食べている児童の割合	93.3%	97.0%
③育児期間中に喫煙している母親の割合	6.0%	4.0%
④育児期間中に喫煙している父親の割合	38.9%	20.0%

① 学校健康状態調査より（肥満度 20%以上の割合）

② 全国学力・学習状況調査より

（朝食を「毎日食べている」「どちらかといえば毎日食べている」と回答した小学 6 年生の割合）

③ ④ 4 か月児健診、1 歳 6 か月児健診、3 歳 6 か月児健診必須問診項目より

施策の展開

- 妊娠期及び授乳期に望ましい食生活が実践できるよう「妊産婦のための食事バランスガイド」などを用いて、母子健康手帳発行時や乳幼児健康相談時に、具体的な保健指導を実施します。また、妊娠前から、健康な体づくりを意識できるよう、広報やイベントなどを通して喫煙や飲酒の影響、適性体重等について周知します。
- 生涯を通じて包括的に女性の健康づくりを支援します。特に、育児中の女性を対象に、産後の運動を始めるきっかけとなる場づくりや、子どもを連れていても健診を受けやすい環境の整備に努めます。
- 乳幼児健康相談や乳幼児健診時に、健やかな生活習慣の形成に向けた基本的な生活習慣や食習慣についての指導を行います。
- 食事や睡眠など幼い頃からの健やかな習慣が生活習慣病の予防につながることを地域や学校を通して情報発信します。また、子どもたちが自分自身の問題として生活習慣の大切さを理解できるように体験等を交えながら情報提供をしていきます。
- 朝食の摂取と学力や体力の関係を周知します。また、名張市食生活改善推進協議会や名張市ボランティア楽食会とともに、簡単に摂取できる朝食レシピ等の作成により、朝食の重要性を啓発していきます。
- スマートフォン、タブレットなどの機器を使用する動画やゲームが、子どもの体やこころに影響を与えることについて情報発信していきます。また、子どもの頃からパンフレット等を用いてスマートフォン、タブレットなどの機器使用による心身の影響について繰り返し啓発していきます。
- 企業と連携したがん検診等の健康情報の提供や実施、また従業員の健康管理に積極的に取り組む企業の顕彰等を行うなど、職域保健との連携を推進しまちじゅう元気推進都市なばりの具現化に努めます。
- 厚生労働省が推奨している、「健康な食事」の普及、啓発を図ります。

（２）生活習慣病の発症予防と重症化予防

食生活の改善や運動習慣の定着等により生活習慣病の発症を予防する一次予防に重点をおいた取組とともに、増え続ける糖尿病、がん、心臓病、脳卒中等の発症予防、重症化予防のために、市民に健（検）診を受けてもらう取組が重要です。

がん検診や特定健診の受診率向上を目指し、市民が健（検）診を受診しやすい環境や分かりやすい広報と啓発に努め、行動変容を促す取組なども加えながら引き続き「名張市生活習慣病予防重点プロジェクト」を推進します。

また、運動や飲食等の団体・関係者・企業をはじめ、医療や介護の関係者、市民団体や NPO、ボランティアなど幅広い関係者との協働により、健康な食事や運動が自然にできる環境づくりに努めます。

目標値

	現状値(平成 30 年度)	目標値(令和 6 年度)
① 特定健康診査(国保)受診率	42.4%	60%
② 大腸がん検診受診率	23.6%	50%
③ 週に 1 回以上スポーツに親しんでいる市民の割合	39.1%	46% ※(令和 4 年度)

① データヘルス計画より ③ 市民意識調査より ※総合計画で設定する目標値・目標年度を設定しています。

施策の展開

- 特定健診、がん検診の受診率向上のために、15 地域の市民センター等、身近な場所での健（検）診を継続実施します。また、子育て広場やこども支援センターかがやき等で子育て中の女性を対象に、子どもを連れていてもがん検診を受診しやすい環境を整えます。
- 特定保健指導や個別健康相談において、禁煙外来の紹介や禁煙指導の強化を図ります。また、望まない受動喫煙をなくすために、受動喫煙による健康影響等を啓発するとともに、健康増進法の一部改正に伴い禁煙がマナーからルールに変わったこと等を広報やリーフレット、ポスター、ラジオ等で広く啓発することにより、住民の健康意識の向上を図ります。
- ダイレクトメールによるがん検診の受診勧奨を継続実施するとともに、行動変容を促す取組として行動経済学(ナッジ理論)(※3)等を活用した案内文による受診勧奨を行います。また、名張ケンコー！マイレージと連動させ、インセンティブにより健（検）診を受診するきっかけづくりを行います。
- 糖尿病重症化予防に向け、医師会との協議、連携の下、特定健診の結果等による検査データで一定の条件に達する者への早期医療受診の勧奨に努めます。
- 健康上の課題を有する生活保護受給者の健康管理支援として、健康増進法に基づく健康診査以外に、18 歳以上の保護開始者に健康診査の受診を促し、生活習慣病の発症予防や重症化予防に努めます。

(※3)ナッジ理論のナッジ(nudge)は、「そっと後押しする」という意味で、選択の余地を残しながらより良い方向に導く手法

（３）社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上

高齢化が進む中で、健康寿命の延伸を実現するには、生活習慣病の予防とともに、可能な限り社会生活を営むために必要な機能の維持や向上が大切です。

高齢者の身体的、精神的及び社会的な特性を踏まえて、フレイルや認知症対策などの介護予防事業と国民健康保険の特定健診や後期高齢者健診の結果に基づく高齢者の保健事業をサロン等身近な場所で一体的に行います。

また、あらゆる人にとって居心地の良い場所や緩やかなつながりを持ち、いきいきと自分らしく生きることが体とこころの健康のかぎになることから、有償ボランティアを含む就労やボランティア活動、趣味や学習活動、保健活動、農・園芸活動等の社会参加活動が容易にできる体制の整備を図り、それらに参加しやすいよう積極的に情報提供を行います。

目標値

	現状値(平成 30 年度)	目標値(令和 6 年度)
① 認知症サポーター養成者数 (平成 19 年度からの累計)	8,541 人	13,000 人
② 地域づくり組織、区、自治会など地域づくり活動に参加したことのある 65 歳以上の市民の割合	69.4%	80% ※(令和 4 年度)

② 市民意識調査より ※総合計画で設定する目標値・目標年度を設定しています。

施策の展開

- 認知症サポーターの養成講座の実施に加え、支援者養成としての認知症ステップアップ講座を実施します。
- 地域の高齢者サロンなど身近な通いの場で保健師や栄養士、歯科衛生士などの専門職が、健診結果等により保健指導を行うとともに、まちじゅう元気リーダー等による「よくバリ青春体操」をはじめとする運動の実践を行います。
- 高齢者学級や女性学級等の市民センター事業、カラオケ教室や舞踊、リズム体操等のサークル活動のほか、総合型地域スポーツクラブや民間企業等の情報収集を行い、個々の状況に合わせて、参加につながる支援等を行います。
- 健康づくりや介護予防の担い手となる、まちじゅう!! 元気リーダーのスキルアップ講座を開催するとともに、地域での活動を支援します。

第4章 歯と口腔の健康づくり推進の方針

【第2次歯と口腔の健康づくり計画】

1. 歯と口腔の健康づくりを推進する方向性と課題

歯と口腔の健康の保持・増進は、健康で質の高い生活を営む上で基礎的かつ重要な役割を果たしています。

また、近年、歯と口腔の健康と全身の健康の関係が明らかになってきていることから、歯科健診や保健指導の充実を図り、歯科医療機関への受診を促すことが、全身の健康にもつながり、健康寿命の延伸に深く関わります。

一方、歯科保健医療を取り巻く状況は、平均むし歯数は減少していますが、一人でも多くのむし歯を持つ子がみられ、社会経済等の要因による健康格差が生じています。また、8020（ハチマル・ニイマル）の達成者が増加している中で、成人の7割以上が歯周病に罹患し、進行した歯周病のある者の数は、ますます増加する見込みです。そのために、それぞれのライフステージの特性を踏まえつつ、生涯を通じた切れ目ない歯と口腔の健康づくりを推進します。

2. 一生涯を通じた歯と口腔の健康づくり

（1） 妊産婦期

人の歯のもととなる^{しはい}歯胚は、妊娠7週目頃からつくられ始めます。そのため、生まれてくる赤ちゃんの歯の形成において、妊娠中の母体の健康状態や栄養状態が重要です。また、妊娠中はつわりやホルモン^{ホルモ}バランス、だ液PH、嗜好の変化や間食回数の増加等食生活の変化により、口腔内の状態が悪化し、歯周疾患やむし歯等が発生しやすくなります。しかしながら、妊娠中、産後の時期は、歯科医院に通院する環境を作りにくく、乳幼児期の子の母親は、育児中心で自身の口腔内はおろそかになりがちです。

施策の展開

- 妊婦歯科健診の受診や妊娠中の口腔保健についての啓発に取り組むとともに、妊婦歯科健診の受診券を妊婦健診の受診券と同様の冊子（母子保健のしおり）に収め、産科医療機関との連携を強化し、受診勧奨に努めます。
- 母子健康手帳の発行教室等で妊婦だけでなく、出産後は、子どもの「かかりつけ歯科医」を持ち、母子ともに歯科疾患の予防・治療・管理ができるように情報提供を行います。
- 妊婦や乳幼児期の子どもを連れて母（妊婦）や父が歯科治療や歯科健診ができる歯科医療機関に関する情報提供に努めます。

（２）乳幼児期

個人差はありますが、子どもは、生後6か月頃から乳歯が生え始め、2歳6か月頃には、ほぼ乳歯が生えそろいます。乳歯は永久歯に比べ歯の質は弱く、むし歯等になりやすい性質を持っています。昔に比べてむし歯は確実に減っていますが、一人で多数の歯にむし歯のある子どもが見られ、二極分化の傾向にあります。

施策の展開

- 1歳6か月児健診・3歳6か月児健診、乳幼児健康相談において、「かかりつけ歯科医」を持ち、定期的に歯科健診や必要な治療、管理ができるよう啓発するとともに、子どもの歯の健康や仕上げみがきの仕方等について歯科保健指導を行います。
- 1歳6か月児健診・3歳6か月児健診時にむし歯のあった子どもの保護者に対し、個々の置かれている環境等を考慮しながら歯科治療につながる保健指導を行います。
- 離乳食教室や乳幼児健康相談、地域の子育て広場、こども支援センターかがやき、マイ保育ステーション等で、よく噛む習慣を身に付けることやうす味に慣れさせること、間食の与え方など、食育とともに乳幼児期の子どもの歯の健康や仕上げみがきのコツ等実技を交えた歯科保健教育の強化を図ります。

（３）学齢期

体の成長発達に伴い、あごの骨も成長するこの時期は乳歯から永久歯へと交換する大切な時期です。萌出したばかりの永久歯は、歯の質も弱く、歯の表面が粗いため汚れが付きやすく、特に一番奥に生える第一大臼歯は、みがきににくくむし歯になりやすい状態に置かれています。

運動能力の向上とともに運動の機会が増えることで、歯や口腔内、あごの骨等に外傷が多くなります。また、思春期になるとホルモンの不調和や生活環境の変化に伴い、むし歯だけでなく歯周病（歯肉炎、歯周炎）のリスクが高まります。

施策の展開

- 全ての小学校で昼食後の歯みがきの実施を促進します。
- 就学時健診時に歯科健診を同時に実施できるよう体制を整備します。
- 小中学校の学校歯科健診後の事後フォローについて、学校養護教諭等の連携により強化を図ります。
- 各学校の歯科保健の課題について、学校保健委員会の学校歯科医や学校医、PTA役員、地域づくり組織代表者等と課題を共有して課題解決に取り組みます。
- 運動部活動等による歯やあごの骨等の外傷を防止するために、マウスガード装着の勧奨や抜けた歯を保存する方法等について周知します。
- 食育の推進にあわせ、おやつのととり方やショ糖等を含むスポーツ飲料のととり方など、むし歯予防、歯周疾患予防の教育を実施します。

（４）成人期

成人期は、それまでの生活習慣の積み重ねによる影響を受け、むし歯や歯周疾患にかかる人が増加します。歯周疾患の発症や進行は、リスク要因である喫煙習慣の有無、適切な口腔清掃の程度により大きく変化し、将来の歯の喪失に影響を及ぼします。加えて、高校卒業後は定期的に歯科健診を受ける機会がなくなり、疾患の早期発見・早期治療が困難になります。

施策の展開

- 成人式を迎えた新成人に対し、歯周疾患予防（かかりつけ歯科医による定期的なメンテナンスの必要性等）と喫煙防止の啓発を行います。
- かかりつけ歯科医を持つよう普及啓発を図ります。
- 企業に対し歯科健診の大切さについての情報発信を行い、歯科健診を実施する企業の増加を図ります。
- 子育て広場やサロン、PTAの催事等で、子どもの歯についての啓発と同時に保護者の歯科保健指導や歯科相談を実施します。

- 集団健診における特定健診後の結果説明会等の機会を利用して、歯科保健指導を実施します。
- 歯周疾患検診の受診率を高めるため、健診期間を通年とし受診しやすい体制を整えるとともに、広報やポスター掲示（スーパー、歯科以外の医療機関、薬局等）、ケーブルテレビ、ラジオ等による啓発を強化します。
- 国民健康保険の切り替わり郵送時を利用して、むし歯と歯周疾患の予防、適切な口腔清掃方法等に関するパンフレットを同封して普及啓発に努めます。
- 糖尿病等有所見者、喫煙者に対して歯周疾患に関する教育・指導を実施します。

（５）高齢期

高齢期になると、歯と口腔機能の衰えや、唾液分泌量の減少、口腔乾燥による口腔内の浄化作用低下等により、歯周疾患が重症化し、歯の喪失や、義歯使用者が増加します。また、歯肉の退縮によって露出した歯根面や、義歯の金具がかかっている歯にむし歯が多くなります。

加齢による咀嚼嚥下機能^{そしゃくえんげ}の低下により、食物や飲み物の誤嚥^{ごえん}が起こりやすくなり、肺炎等を引き起こすおそれがあります。さらに、口腔機能の低下により低栄養を引き起こし、心身機能の低下や全身の健康にも大きく影響を及ぼすオーラルフレイル^(※4)の重症化予防が重要となります。

（※4）オーラルフレイルとは、高齢により滑舌低下、食べこぼし、物がうまく飲み込めない、噛めない食品が増えるなどの口腔機能が低下した状態

施策の展開

- 歯周疾患検診や後期高齢者歯科健診の、受診率の向上を図るため、地域のサロンや老人会等への啓発に努めます。
- 歯や口腔の健康(歯周疾患、歯の健康、噛む、口腔機能向上)を保つために必要な基本的知識として、セルフケアとともにプロフェッショナルケアが必要なことから、かかりつけ歯科医を持つことなどについての普及啓発を図ります。
- 生涯にわたり自分の歯を20本以上保つことにより健全な咀嚼能力^{そしゃく}を維持し、健やかで楽しい生活を過ごそうという8020運動を推進します。
- 口腔内を清潔に保つことにより、誤嚥性肺炎^{ごえん}の発生を予防できることを啓発します。

（6）要支援者（障害者・要介護者）

障害者は一般的に健常者に比べ歯科疾患の有病率が高いといわれています。障害そのものが原因である場合と、自己管理の不十分により、歯科疾患や口腔ケアへの対応が遅れることなどが考えられます。要介護者についても、歯を喪失したままにしたり、義歯があっても合わなくなって使用せず、歯ぐきで食べるような状態になっていたり、義歯に汚れが付いたまま、口腔内の状態が悪いことがあります。また、介護者(家族、施設職員等)においても、障害や疾病に対する介護が中心となり、口腔の管理まで行き届かない状況もあり、口腔ケアが十分できていないことがあります。

施策の展開

- 障害児・者施設や介護施設と連携し、歯科医師会の協力のもと口腔機能の向上を図る取組を実施していきます。
- 歯科診療につながるよう、歯科医療機関等との連携・支援に努めます。
- 通所介護サービス等を利用している人を対象として、通所介護事業所において歯科健診が受けられる体制を検討します。

第5章 名張市15地域づくり組織の健康づくり

令和元年6月から9月にかけて、15地域づくり組織との協働で『ワールドカフェ』を開催し、地域ごとに健康づくり（地域づくり）をテーマに意見を出し合いました。「個人がすること」「地域がすること」「行政がすること」の切り口で、それぞれの取組の方向性を出しました。今後、この方向性を踏まえ、地域づくり組織やまちの保健室、庁内関係部署との連携を図りながら、各地域で健康づくりを展開します。



地域ごとの健康づくりキャッチフレーズ

1. 名張地域
①ってだーこ**②**てだーこ**③** (なばり) みんなおたがいさん～ステップアップなばり～
2. 鴻之台・希央台地域
みんながつどい いつまでも住み続けたいまち
3. 蔵持地域
健康で生き生きらせるまちづくり一結ぶ・つながる人の輪作り
4. 川西・梅が丘地域
住民のふれあい・友愛づくり、安全・安心な住みよいまちづくり
5. 薦原地域
わたしとみんなの笑顔でつむぐ 健康の里づくり
6. 美旗地域
“安全安心のまちづくりビジョン・だれもが生きいき”をめざして
7. 比奈知地域
今日も一日明るく元気 笑顔であいさつ ゆめ☆ひなち
8. すずらん台地域
**すくすくこどもが育つまち ずっと元気にいきいきと 大切にしよう地域のきずな
家族の団らん**
9. つつじが丘・春日丘地域
このまちにず～っといたい！誰もが胸を張って住みたくなるまち
10. 錦生地域
生涯現役宣言!! 誰もが生き生き 地域が元気☺
11. 赤目地域
④えば楽しく ⑤わす挨拶 ⑥が笑う 笑いが聞こえる 赤目のまちづくり
12. 箕曲地域
ぴーちぴち！みんなが笑顔で健康づくり
13. 青蓮寺・百合が丘地域
健康寿命 100 歳 生きがいプロジェクト
14. 国津地域
人と人との絆を感じ、生き生き暮らせる生涯現役の国津
15. 桔梗が丘地域
今日も元気に1・2・3 ～さわやかな風が街を抱む～

1. 名張地域

(1) 地域の健康づくりの方向性

① よってだーこ ② きてだーこ ③ 隠 (なばり) みんなおたがいさん～ステップアップなばり～

個人がすること	○外に出て、あいさつをして、人とつながります ○町の景観をよくします（家のまわり、ウォーキングの時にゴミ拾いなど） ○子どもの登下校時に外にでて、見守りも兼ねた声かけをします ○積極的にイベントなどに参加し、地域の人と交流します ○今日行く、今日用をつくります（教育・教養） ○仲間と一緒に体を動かします
地域がすること	○次の担い手を育成する：事業の継承など、活動に参加してもらい、一緒に活動しながら役割をスライドしていきます ○各地区にある集議所の利活用：気軽に集まれる場として開放します ○緊急通報での安否確認による高齢者の見守りや健康相談などを企業と連携しながら行います ○SNSなどを利用して、若い世代への情報発信を工夫します ○子どもの見守りを行います ○学校と地域をつなげます（隠街道市への小中学生、高校生の参加） ○子どもを巻き込んだイベントを企画します ○まちの保健室を知ってもらえるようPRしていきます
行政がすること	○地域のニーズを把握し、地域の健康づくりを支援します ○まちの保健室と連携し、健康づくり、介護予防などについて情報発信を行います ○地域の課題やニーズに応じて、庁内関係部署と連携を図ります

(2) ワールドカフェで出された意見

テーマ	主な意見
健康な姿、健康な地域って？	行きたい場所に行ける/清潔な町、安全な町/あいさつが気軽にできる関係/居場所がある/地域全体で子育てができる/健康のモデルとなる住民がいる/自分の思いや気持ちを伝えることができる/求めてくれる人がおり、それに応えることができる/今日行く（教育）、今日用がある（教養）がある/次世代へ地域の役割を引きついでいける町/仲間と一緒に活動できる/おいしく食べられる/人と関わりがある/身体を動かす/自分の思いを伝えることができる など
地域課題	若い世代との交流が少ない/若者が地域の取組を知らない、活動の先読みができない/横のつながりが少ない/次世代への活動などの引き継ぎ/イベントの参加者が固定してきている/イベント運営側の高齢化/高齢者の移動手段がない、免許がないと心配/空き家が増加してきている/町の景観が悪くなってきている/検（健）診受診率が低い/若い人が定住しにくい、働く場所が少ない/情報発信が下手/日曜や夜に、子どもがウロウロしている（子どもの居場所がない）/19地区あるため、全体でまとめることが難しい/高齢になり歩いて5～6分の範囲しか通えない など
解決策	各地区にある集議所の活用：無料開放にし、歩いて行ける場所に少人数でも集まれる場をつくる/子どもが1人でも参加できるようなイベントの開催/町の景観の中に、健康づくりの視点を入れる、ひやわいなどにケンケンパーなど、自然と体を動かせるしくみをつくる/若者がチャレンジできるしくみづくり/小学生に高齢者が伝統（名張音頭など）を伝える機会をつくる/商店街の活性化/学校の近くにカフェをつくり、集える場づくり/SNSの活用、情報発信の工夫/若い人にもイベントに参加してもらえるように、隠街道市など若い世代を巻き込んで体験してもらえるしくみづくり/企業と連携する/土曜授業などを利用して、学校と地域をつなぐ/ふるさと学習「なばり学」の活用/名張地域でマラソン大会などを実施し、名張を知ってもらおうきっかけをつくる/8・3運動：朝8時、昼3時に散歩や家の前で近所同士集まり、通学時の子ども達に声掛け(あいさつ)/地域の人から子どもへ声をかけ、地域で子どもの見守りをする/イベントのテーマカラーを決め、盛り上げる など

2. 鴻之台・希央台地域

(1) 地域の健康づくりの方向性

みんながつどい いつまでも住み続けたいまち

個人がすること	○笑顔であいさつをし、「おはよう」と「ありがとう」を口に出します ○きれいな姿勢、外出、人とのつながりを大切にします ○栄養バランスのとれた食事と体を動かすことを習慣化します ○ゴミ捨てなどのマナーを守り、みんなの公園を大切に利用します ○ご近所同士の声掛け・お手伝いを心がけます ○地域のイベントに積極的に参加します ○特技のある人は人材バンクに登録し、無理のない範囲で地域活動に協力します
地域がすること	○2019年8月から世代間交流ができる場として「町なかクラブ」を開始しており、乳幼児・学童から高齢者まで、地域の誰もが集えるように取組を進めていきます ○地域の声を受け止め、誰もが参加しやすく楽しめるイベントを企画します ○パークアベニューや公園の草引きやゴミ拾いなど、住民の皆さんと一緒に安全な地域を維持します ○利用者の多い三号公園の駐車場を増設できるように調整を継続します ○街灯の整備をし、防犯につなげます
行政がすること	○まちの保健室と連携し、他地域での良い取組の紹介を含めた子育て支援・健康づくり・介護予防のための提案、情報発信、取組を実施します ○特定健診やがん検診について周知し、継続実施します

(2) ワールドカフェで出された意見

テーマ	主な意見
健康な姿、健康な地域って？	笑顔は健康な心/幸福/安心感/挨拶が行き交う/人と会う/地域の中に居場所がある/仲間と集う/話・相談ができる人がいる/バランスのとれた食事/運動することや正しい姿勢が大切/子育てがしやすい/高齢者にやさしい/助け合い/お年寄り子どもがふれあえる/防犯/地域のイベントに参加する/夜暗くない地域/歩いていきたいところに出かけられる/自分のことが好きでいられる/マイナスなことが起こっても、プラスに考えることができる/ストレスをためない/気分転換/健康体操/野菜作り など
地域課題	乳幼児への支援はあるが、学童への支援が少ない/共働き世帯が多く日中地域に人が少ない/親同士のつながりが少ない/集合住宅に住んでいると近所の人顔が見えない/転入出が多く、若者が定住しにくい/(他の地域に比べて数が少ないので) 高齢者が埋もれていないか/ごみのポイ捨てや草が伸びているなど公園や歩道が利用しにくい/医療体制が不安/個々の事情もあり、近所づきあいの距離感が難しい/ボランティアが少ない/核家族だと育児の教えを伝承しにくい など
解決策	笑顔であいさつする/世代間の交流ができる場が大切/SNS 映えるようなお花の迷路が公園にあればいい/街灯を増やして明るい安心なまちへ/公園の駐車場を増やしてほしい/商業施設とコラボした活動ができればいい/自治会と子ども会のリンク/児童の居場所がほしい/集合住宅の人も参加しやすいイベントがあるといい/公園の草むしりや畑などの体験を子どもと一緒にする/イベントに参加する側から、企画・運営する楽しみを知ってほしい/休日でも銀行や市役所の手続きができればいい/コミュニティスクールにより子どもの顔が見られるようになることを期待/2019年8月にスタートする居場所で世代間交流したい/高齢者の特技(竹細工・紙飛行機・お手玉など)を活かせるようなしくみ/集った人同士でお互いを支えあえることができればいい/学校や地域で朝食を提供できたらいい など

3. 蔵持地域

(1) 地域の健康づくりの方向性

健康で生き生きらせるまちづくりー結ぶ・つながる人の輪作り

個人がすること	○笑顔で挨拶をします ○規則正しい生活を心掛けます ○ラジオ体操に参加します ○なるべく歩いて足腰を鍛えます ○地域を歩きながら、地域の子どもたち・高齢者を見守ります ○地域のイベントに積極的に参加します ○近隣で声をかけ合い、誘い合える、助け合える関係を築いていきます
地域がすること	○子どもから高齢者まで、だれもが集えるような場づくりを目指します (蔵清水を使ったカフェやビアガーデン、市民センターに図書コーナーなど) ○名所旧跡や自然の豊かさを楽しめるようなウォーキングやサイクリングマップを作り、情報発信を行います ○ウォークラリーの継続・発展のために取り組みます ○食育としてみそづくりを継続します ○子どもから高齢者まで楽しんで参加できるイベントを企画し、世代間交流を図ります ○地域内の6地区が交流し、それぞれの良さを分かり合える機会を設けます ○男性が参加しやすいイベントを企画し、地域づくり活動を活性化します ○気軽にできる健康体操を地域で行います ○地域のつながりを意識し、見守り体制を充実します
行政がすること	○地域と共に健康づくり・介護予防・子育て支援のための取組みを考え、実施します ○まちの保健室と共に健康づくり推進のための情報を発信します ○特定健診の啓発・継続実施をします

(2) ワールドカフェで出された意見

テーマ	主な意見
健康な姿、健康な地域って？	自立した生活が継続できる/顔を合わせたら気軽に声かけ/笑顔であいさつ/生活に充実感がある/目標・目的がある生活/ひきこもりにならないこと/きずなのある地域/地域とつながりを持つ/健康づくり活動が活発/新しいことに挑戦する心/すべてをポジティブに考える/若々しい気持ち/健康に対する意識が高い/困った時に相談できる場・仲間がいる/ラジオ体操に参加する/ストレッチ、ウォーキングなど体を動かす/体重や歩数をチェックする/畑仕事ができる/よく眠れる/ご飯をおいしく食べられる/歯の健康/子どもたちの元気な姿/早寝早起き/会話がある/図書館のあるまちは長生き など
地域課題	強み：緑が丘では若い人と高齢者の活動する者のバランスが良い/畑が多い/農作業できる場所が多い/自然が多い/買い物がしやすい・駅が近いという立地の良さ/名所旧跡がある/地域で防災用レトルト食品を作っている/蔵清水(井戸水)がある/防災に強い/散歩道に最適/サークル活動が広がっている 弱み：地区間のコミュニケーションがとりづらい/人の流入で人間関係が希薄化している/各年代での活動はあるが、世代間の交流が少ない/農村部と団地の交流があまりない/地域活動・行事への参加が少ない/男性のサロン等への参加が少ない/子どもが少ない/共働きが増えて昔に比べて子育て世代にゆとりがない/あいさつしても返してくれないことがある/車の交通量が多く危険/交番がない/農地を守るのが大変 など
解決策	笑顔であいさつする/規則正しい生活/体重計測・歩数チェックを毎日気軽に楽しく行う/ラジオ体操に参加する/なるべく歩いて足腰を鍛える/気軽にできる健康体操をする/世代間交流ができる場をつくる/子どもから高齢者まで楽しめるイベントを行う/農村部と団地が交流する機会を持つ/役割をもってもらうことで、男性にイベント・サロン等に参加してもらう/ウォーキングやサイクリングのマップを作り、情報発信する/いろんな世代の人が集えるカフェのような場づくり(蔵清水を使ったコーヒーやビアガーデンなど)/買い物・散歩・畑仕事をしながら、地域の子どもたちや高齢者の見守りをする/いろいろな本を集めて市民センターに図書コーナーを作り、心の健康や交流につなげる/おみそづくりで食育/人とつながりを持つ など

4. 川西・梅が丘地域

(1) 地域の健康づくりの方向性

住民のふれあい・友愛づくり、安全・安心な住みよいまちづくり

個人がすること	○近所同士で声をかけあって、地域のイベントやサークル活動に参加します ○地域の役員になり、地域を知り、人とのつながりを増やします ○まちじゅう元気の教室に積極的に参加します ○健診受診や、フェスタでの健康測定等に参加します
地域がすること	○ライフサポート「ちょい・すけ」にて外出支援を検討します ○地域の環境整備を継続し、綺麗な地域を維持していきます ○夏祭り等のイベントを継続し、若い世代からも参加できるような地域交流の場を増やしていきます ○サークル活動や、男性が参加しやすいスポーツ競技などの活動を継続実施していきます。また、参加しやすいように、サークルやイベント等をリスト化するなど、周知方法を工夫します
行政がすること	○健康づくりに関する情報提供やまちじゅう元気!!リーダーの活動支援を行います ○庁内の関係機関との連携を強化し、地域の健康づくりの支援を行います

(2) ワールドカフェで出された意見

テーマ	主な意見
健康な姿、健康な地域って？	自分の足で歩いて、外に出かけることができる／サークルなど、積極的に参加している／スポーツ活動を楽しんでいる／趣味を楽しめる／地域の活動や行事に積極的に参加している／ボランティアに参加している／日々することがあり、出かける用事がある／近所同士つながりがある／おいしく食べることができる／食事のリズムがついている／3食しっかり食べている／身だしなみを整えている／話し相手が多い／あいさつをする／子どもの声が聞こえて、活気がある地域／子どもが集まる場所がある／笑い声が多い地域／環境が整備されている綺麗な地域 など
地域課題	高齢化が進んでおり、敬老の日の対象者が年々増えている／独居高齢者の買い物の交通手段がない／坂道が多くて、移動が大変／働く場が少ない／コンビニが団地内にでき便利にはなるが、交通事故が心配／災害時、橋が崩壊すると孤立してしまう／役員経験者はつながりが強いが、役員をしていない人はイベント等への参加も少ない／梅が丘と川西との交流があり、つながりが強い など
解決策	男性の参加者が多いソフトボールやグラウンドゴルフなどの活動を継続し男性が集える場をつくる／近所で声をかけあって、イベント等に参加する／積極的に役員になり、地域とのつながりを増やしていく／「ちょい・すけ」で、外出支援を検討する／ラジオ体操を実施し、毎日体を動かす／まちじゅう元気教室に積極的に参加する／「笑って走ろう会」に参加する地域で実施しているサークルやイベントをリスト化して、年1回配布するなど、サークル等に参加しやすい工夫をする／地域活動やイベントに参加するきっかけづくりとして、名張ケンコー！マイレージを活用する／高齢者が子ども達に遊びを教える など

5. 薦原地域

(1) 地域の健康づくりの方向性

わたしとみんなの笑顔でつむぐ健康の里づくり

個人がすること	○地域の行事に声をかけあって参加します ○自分が新しい人を一人連れて参加します ○健康づくりの知識や地域の取り組みの情報を収集して活用します ○早寝、早起き、規則正しい生活を心がけます ○あいさつを交わします ○積極的に地域の役員を担い、地域の活動を知ります ○今日行く（教育）、今日用（教養）を心がけます ○運動会やお祭り等に積極的に参加し、地域の人と交流の機会を持ちます
地域がすること	○里山の生活（農林業、動植物など地域の自然環境等）を子ども達に経験してもらいます ○地域づくり委員会などが、小学校の学習や活動に協力していきます ○子どもが地域に愛着をもつことができる機会をつくります ○地域の活動を効果的に情報提供できるしくみづくりを検討します ○ウォーキングコースや各名所を活用し、各地区交流のウォーキングを勧めます ○若い世代が参画できるよう、市民センターにおいての活動を工夫します ○地域のイベント内容を見直し、参画型の内容も盛り込めるよう検討します ○各地区の集会所を利用して出前サロンの充実を図ります ○地域の健康づくりに関する行事（元気度チェックなど）や活動をまちの保健室と共に広め、健康づくりの担い手の人材育成をします
行政がすること	○子育てしやすい地域づくりを支援します ○健康づくり推進のため、普段の身体活動の見える化を提示します ○「元気度チェック」で体力チェックの実施に協力します ○各集会所での出前サロンや健康講座等の実施に協力します ○健康づくりを推進する次の活動者の発掘や育成に協力します

(2) ワールドカフェで出された意見

テーマ	主な意見
健康な姿、健康な地域って？	無理なくチャレンジできる/野菜作りができる/働くところがある/よく食べ、よく眠り、よく笑う、よく喋る/仲間がいる/毎日出かける所がある/自分のことは自分でできる/人、近所とつながりがある/子どもが安心して遊べる/3食食べて規則正しい生活ができる/世代間交流がある/子どもの声が聞こえる/安心して歩ける/笑顔が自然にでる/いい距離感の見守り/ラジオ体操に参加できる/夫婦で畑仕事ができる など
地域課題	子どもが少なく将来が心配/地域が広すぎるため地区間の交流がしにくい/移動手段がない/SNSで情報が取れるようになり、人に聞くことがなくなった/市民センターへの交通手段が難しい/農業をしていると、決まった時間に運動ができない/若い世代は平日の活動に参加しにくい/地域の活動に若い世代の参加が少ない/地域の活動が知られていない/男性のつながりや活躍の場が少ない/地区行事の担い手不足/若い人が定着しにくい/外出が少なく出会いが少ない/介護予防への関心が薄い/既存グループの仲が良く、新しい人がグループに入りにくい/若い人は大人数が苦手/中学生（地域外）の交流が少ない など
解決策	夏祭りなど、子どもと一緒に参加しやすい行事を増やす/情報提供の工夫をし、地域づくりの活動をもっと知ってもらう/出前サロンを実施する/各集会所を積極的に利用する/男性に役職、役割をつけ地域づくり活動等に参加してもらう/各地域の名所をめぐり、他地域との交流をする/地域の運動会を工夫する/麻雀や囲碁など、男性が参加しやすいように工夫する/若い人が集えるような、スポーツ系のサークルをつくる/若い世代が定住、帰りたい地域にするために子育て中の親子に向けた取り組みをする/得意分野で担い手を募集する/小グループから組織活動へ広げていく/「出あい」で地域の絆を深める/野菜販売でいきがいづくり/平日夜間のスポーツ、サークル活動 など

6. 美旗地域

(1) 地域の健康づくりの方向性

“安全安心のまちづくりビジョン・だれもが生きいき”をめざして

個人がすること	○近所で声をかけあい、地域の行事に積極的に参加します ○がん検診、特定健診、歯科検診を定期的に受けます ○はたっこ通信・市民センター便りを意識して見るようにします ○笑顔であいさつを交わします ○バランスの良い食事をとり、運動します ○自分の健康は自分で守り、生涯現役を目指します ○かかりつけ医をもちます
地域がすること	○イベント開催時は、幅広い方が参加できるように文化的な要素も取り入れます ○地域の公園で子ども達が安全に遊べるように、環境整備を実施します ○地域づくり活動を知ってもらえるように、はたっこ通信・市民センター祭り等で発信していきます ○交流の場としてめろんカフェ（認知症カフェ）を継続実施します ○はたっこサポート（有償ボランティア）を生活支援以外にも、移動支援の立ち上げも検討します ○学校、地域等でコミュニティスクールを進めていきます ○通学の見守り（見守りは定期的に民生委員が実施）など地域ぐるみで子どもを育てます ○青パトで地域の安全・防犯対策を継続して行います ○美旗の赤いポロシャツを着て、自主的に子ども達の見守りを行います ○みはた元気隊として地域に健康のおすそわけを行い、各地区へ出向きます ○移動販売を検討し、実施時は集会所を拠点に交流の場と合わせるなど工夫します ○ケンコー！マイレージを活用してイベントを実施し、地域の健康づくりに繋がります
行政がすること	○地域と協働で、特定健診やがん検診の啓発と実施をします ○食事、運動などをテーマに歩いて通える集会所単位での健康教育を実施します ○健康づくりのための情報発信を、まちの保健室便りなどを活用し実施します ○医療や福祉、子育て支援など健康に関連した行政内の部署での連携を図ります

(2) ワールドカフェで出された意見

テーマ	主な意見
健康な姿、健康な地域って？	散歩、ラジオ体操、グラウンドゴルフ等日頃から運動する/普段から体や頭を動かす/いつまでも自分の足で歩ける/声かけができて助け合える/気持ちのゆとりと時間の余裕がある/前向きである/明るくあいさつができる/働きやすい環境、いつまでも働ける/住みやすい地域/生きがいがある/自分のやりたいことがある/世代を超えて交流がある/地区ごとで交流がある/民生委員が見守りをしている/朝の目覚めが良い/役割がある/コミュニケーションが取れている/仲間作りができる/笑顔でいられる/地域の公園等で子どもが遊んでいる/体をよく動かしている/こころとゆとりが体の健康につながる/認知症への理解がある地域/経済的に余裕がある など
地域課題	健康的な食事を学ぶ機会が少ない/旧村部と団地に地域差がある/市民センターや病院までの移動手段がない/買い物へ行くのが大変/地域の行事（どんどこなど）や市民センター活動を知らない人が多い/身体的な問題で外に出なくなり、つながりが切れてしまう/サロンに来るメンバーが固定されている/サロンに誘っても来ない人がいる/地区によっては公園がないところがある/子どもが室内でゲームをして遊んだり、環境の変化によって公園等での外遊びが減少している/地域が広い/地域内の交流が少ない/歩きやすい環境が必要/農繁期は忙しい/旧村部は地域の行事が多くて他の活動がしにくい/自己流の健康の取組をしており、過信している人が多い/市民センター便りが受け取る人によっては活用されていない/イベント等に男性の参加が少ない、男性で引きこもりの方がいる/ケンコー！マイレージのイベントがいつ実施しているのか分かりにくい/小学生と交流したいが難しい/地域内での安全対策や見守りに限界がある/一人暮らしの高齢者が増加している/放課後児童クラブの利用者が増加し受け皿が減少している/はたっこ号の利用がむずかしい/文化的な活動が重要で健康づくり活動は重要視されていない など
解決策	イベント開始時などは区長からの声掛けをしていく/市民センターまでが遠いため、地区の集会所などで集まる/テーマは、健康より文化的なほうが集まりやすい/マジックなどのイベントを中心に男性の参加を促す/公園の整備をして、子どもの遊び場の確保と安全の確保を行う/地域の集会所を拠点に時間を決めて移動販売を実施し、買い物等で集う場をつくる/買い物へ行く手段として、巡回バスや移動販売を実施しそこで交流する/地域づくりの活動を知ってもらうと同時に、この活動は人のためにも自分のためにもなるということを発信していく/はたっこ通信・市民センター便りを活用する（メリハリをつけて掲載する）/子どもの関わりから親と関わるようにする/あいさつを交わせるまちにしてい/ウォーキングやサロン等で人と交流して心の健康に繋げる/リズム体操、カラオケ、スクエアステップ、オカリナ等趣味のサークルに参加する/子どもから高齢者まで運動する機会としてメイハンランドを活用する など

7. 比奈知地域

(1) 地域の健康づくりの方向性

今日も一日明るく元気 笑顔であいさつ ゆめ☆ひなち

個人がすること	○地域のイベントなど出来るだけ外にできるように心がけます ○あいさつや声かけを積極的にし、地域とのつながりを大切にします ○スクエアステップやラジオ体操など、地域で積極的に体を動かします ○地域のボランティア活動に積極的に参加します ○皆で誘い合って、サロン等に参加します
地域がすること	○各地区の集会所などを利用して、集える場をつくれるように調整します ○体を動かせる場所に休憩できる場を設置するなどの環境づくりを検討します ○地域で交流する場をつくり、子どもや若い世代が集えるようなしくみをつくりま
行政がすること	○庁内の関係機関との連携を強化し、地域の健康づくりの支援を行います ○各地区で健康づくりの講座を開催する時には講師調整等の協力をします ○まちじゅう元気!! リーダーの育成・支援を行います ○特定健診やがん検診を地域との協働で継続実施します

(2) ワールドカフェで出された意見

テーマ	主な意見
健康な姿、健康な地域って？	笑いを忘れず、笑顔で体を動かす/スクエアステップやウォーキングなど運動を継続する/好き嫌いせずに食べる/自分のことは出来るだけ自分でする/出来るだけ外にでる/相談相手が多い/顔見知りが多く、声をかけ合える/公園で子どもが遊んでいる/朝ごはんをしっかりと食べている/食べることが楽しい、おいしく感じる/好きなことを楽しめる仲間がいる/サロンに参加できている/世代間交流がある/好きなところに行ける/皆で集まり、活動できる場がある など
地域課題	坂が多く、なごみに行くのが困難/移動手段がないため、行事等に参加できない/地域が広く、移動距離が長い/男の人の参加が少ない/若い人の参加が少ない/担い手の世代交代ができていない/近隣同士のコミュニケーションが少ない/地域への伝統行事への参加が少ない/集まれる場所が限られており、気軽に行けない/担い手の人材不足/地域でのイベントが減ってきている/交通の便がわるく、イベントやサロンに参加したくてもできない/ボランティアの高齢化/地元子どもが留まらず伝統の継承がしにくい/若い世代は、時間と気持ちの余裕がない など
解決策	身近な場所で参加できるように、各地区でイベントや講座を開催する/集会所や空き家などを活用し、集いの場をつくる/コミュニティバスなど、地域内の交通の環境を整えイベントやサロンに参加しやすくする/若い世代や、リタイヤした人へ地域イベントの参加を促す/ボランティアの交流を増やす/各地区に子どもの居場所をつくる/ボランティアのモチベーションを保つ研修を行う/ラジオ体操などで世代間交流や体力づくりを実施する/他地域と合同でコミュニティバスの運行等交通の便の改善/ウォーキングを実施できるところに休憩できるようにベンチ等の設置/なごみの各地区出張版をしてみては/合同老人会等実施し、交流をはかる など

8. すずらん台地域

(1) 地域の健康づくりの方向性

すくすく子どもが育つまち ずっと元気にいきいきと 大切にしよう地域のきずな
家族の団らん

個人がすること	○外に出て人としゃべって笑って、ご近所同士のつながりを濃くします ○子どもが、安心して外で遊べるように子どもたちを見守ります ○食事・睡眠・運動の規則正しい生活で、心と体の健康につなげます ○がん検診や特定健診を定期的に受診し、病気の早期発見・早期治療につなげます
地域がすること	○全ての世代で交流を深められるようなイベント開催を検討します ○若い世代の思いが地域づくりに反映されるように、若い世代を対象としたアンケートの実施を検討します ○現在行っている活動の継続や内容の充実が図れるように様々な人と意見交換をしながら検討し、啓発していきます ○次の担い手を育成するために、まずは地域の活動やイベントに参加してもらい活動や運営を一緒にやりながら引き継いでいきます
行政がすること	○地域との協働で特定健診やがん検診の啓発と継続実施を行います ○まちの保健室やすずらん台町づくり協議会と連携し、区ごとでの健康づくり・介護予防を継続実施します ○地域の課題やニーズに応じて庁内関係部署の連絡調整を図ります（ゴミ出し問題等） ○健康づくり推進のための情報発信をします

(2) ワールドカフェで出された意見

テーマ	主な意見
健康な姿、健康な地域って？	姿勢を正しくする/運動をする/畑仕事やゴルフなどで体を鍛える/ラジオ体操に参加している/規則正しい生活を送っている/睡眠をしっかりとる/三食を毎日とる/おいしくごはんが食べられる/楽しく適度にお酒がのめる/おしゃべりがさかん/コミュニケーションが活発/子どもが外で遊ぶ姿がある/高齢者が家の中に閉じこもっていない/人とふれあえる居場所がある/趣味をひとつ以上もつ/意欲的になんでもやる/近所の人と仲良くしゃべる/近所の人元気にしているか声をかけあう/いつもニコニコ笑顔 など
地域課題	ちらしなどの案内があまり読まれていない/ナルクやライフサポートが活動支援しているがニーズに応じて更に幅広い対応を行いたいとその点はまだ十分でない/ラジオ体操は限られた場所でのみの実施/運転ができなくなれば買い物や病院に困る/市民センターでのイベントが多いため西と東で参加しやすさの差がある/子どもの欠食/自治会活動に若い人の参加が少ない/活動メンバーが固定されている/世代間の交流が少ない/集える場が少ない/ごみの分別問題/地域づくりの取り組みに対して、子ども・子育て世代の参加が少なくニーズが拾いきれない/行く場所が限られている など
解決策	今行っている取組内容を充実させる/移動スーパーがあると嬉しい/まずは参加してもらえるように近所同士で誘い合う/隣近所同士での情報交換・交流をする/野菜販売を広げる/若い人の意見を聞くために中学生以上を対象としたアンケートをする/若い世代ともしっかりコミュニケーションをとる/全世代が参加する区対抗運動会を実施する/自治会に若手をスカウトする など

9. つつじが丘・春日丘地域

(1) 地域の健康づくりの方向性

このまちにす〜っといたい！誰もが胸を張って住みたくなるまち

個人がすること	○まずは家庭から、ご近所から笑顔で挨拶します ○自立した生活を維持するために、歩くことを中心に体を動かし体力づくりに努めます ○趣味や好奇心を大切に、刺激のある生活を送ります ○自己管理として、健(検)診を定期的に受診して、病気の早期発見や治療と生活習慣の改善に努めます ○ご近所で声を掛け合い、普段から思いやりを持って関わりあえるような関係を目指します ○地域活動・イベントに参加し、地域とのつながり、世代間交流を大切にします
地域がすること	○自治協議会や自治連合会と番町自治会とで課題を共有し、役割分担をしながら、地域での取組を進めます ○イベントや取組の広報を工夫し、すべての住民に情報を届けるように努力します ○子どもたちの居場所、赤ちゃんから高齢の方まで気軽に通える居場所づくりを目指します ○健康や福祉の事業内容を整理し、より良いものにしていきます ○つつじが丘小学校・南中学校と連携して、コミュニティスクールとして地域が学校を支え、学校が地域に貢献できる関係を強めていきます
行政がすること	○まちの保健室と連携し、他地域での良い取組の紹介を含めた子育て支援・健康づくり・介護予防のための情報発信と取組の提案をします ○普段からの健康づくりが大切であるという意識を高めてもらうために、特定健診、がん検診、骨密度測定、体組成測定などの取組について周知・啓発し、工夫しながら継続実施します ○地域や小中学校と健康課題を共有し、改善や課題解決に向けた取組を計画します ○地域から近隣地域や名張市全体で取り組むべき課題や提案があった時には調整に努めます

(2) ワールドカフェで出された意見

テーマ	主な意見
健康な姿、健康な地域って？	笑顔/運動をする/好きなことをする/誰かと話す/おいしく食べる/集まる場所がある/外に出て皆と顔を合わせる/日頃のあいさつ/大声で笑える/前向き/助け合う心/近所と仲良く/何にでも興味が持てる/高齢者とこどもが交流できる、笑いあえる/認知症を知る/社会参加(ボランティア)していると感謝の言葉が聞こえる/趣味を持ってサークルや教室に参加する/子どもの笑い声が聞こえる/他人を思いやれる/歯の健康が大切/安心して外に出られる/歩ける/自分のことが自分でできる/心の健康/気軽に行けるところがあるなど
地域課題	強み：保育園・幼稚園(認定こども園)・小学校・中学校・高専がある/コミュニティスクールの取組で学校・子どもと地域の距離が近い/子どもにも高齢者にもボランティアの支援がある 弱み：坂が多く、交通手段が限られている/車がないと不便だから免許証返納できない/自治会役員もボランティアも次の担い手がない/若い世代が自治会活動に消極的/自治会の非会員が多い/地域活動は役員に任せきり/道路が凸凹していて危ない/猿が出て危ない/空家が増えている/子どもと高齢者、子育て世代とシニア世代の交流が少ない/地域全体でのイベント・取組はあるが、身近な番町ごとのものは少ない/隣近所との関係も希薄/不法駐車が多い/子どもが思いきり遊べる場所がない など
解決策	笑顔であいさつする/老若男女が集える場づくり/健康維持のための自己管理/ご近所同士の声かけ、普段からの関係づくり/役員・班長にまかせっきりでなく、住民みんなで地域活動を支える/歩くことを基本に、体力作りをする/番町ごとに小さな行事をして、顔の見える関係を築く/認知症予防・早期発見を心がける/情報発信の方法を工夫 など

10. 錦生地域

(1) 地域の健康づくりの方向性

生涯現役宣言!! 誰もが生き生き 地域が元気◎

個人がすること	○笑顔で挨拶をかわし、人とのつながりを大切にします ○バランスのとれた食事、定期的な運動、質のいい睡眠で生活習慣を整えます ○家事や農作業などで生活のなかでこまめな運動を心がけます ○子どもが地域で歩いていたら優しく声をかけ見守ります ○がん検診や特定健診を定期的に受診し、病気の早期発見・早期治療につなげます
地域がすること	○子どもから高齢者まで全世代がふれあいを楽しみ、地元愛を深めるという視点で行事を企画します ○学校と保護者と協働しながら子どもたちの健やかな成長のためにコミュニティスクールをすすめます ○集会所などの歩いて行ける場所を活用し地区ごとでの健康づくりを広げていきます ○地域の伝統文化継承や食育推進の取組を大切に、市全体にも発信します ○情報発信の方法を工夫し、錦生地域の取組に興味をそそられ、参加したくなるような気持ちにします
行政がすること	○地域との協働で特定健診やがん検診の継続実施・啓発をします ○まちの保健室や錦生自治協議会と連携し、地区ごとでの健康づくり・介護予防を継続実施します ○地域の課題やニーズに応じて庁内関係部署の連絡調整を図ります ○健康づくり推進のための情報発信をします

(2) ワールドカフェで出された意見

テーマ	主な意見
健康な姿、健康な地域って?	1日30品目もりもり食べる/バランスのよい食事を心がける/早寝早起きで休日も生活リズムを崩さない/いきがいをもつ/からだも気持ちも若さを保つ/ほっとバス錦に乗って外にでる/多くの人と出会う、会話を楽しむ/農業の合間の井戸端会議を復活させる/畑仕事を元気にできる/あいさつで人とつながる/お互いに関心をもつ/自然とふれあえる農業で健康をキープ/全世代のつながりがある/ボランティアで楽しみや喜びを感じられる/健(検)診を受診する/歯を大切にする歯みがき習慣 など
地域課題	世代間のつながりが希薄になっている/地域のなかでリードしてくれる人がみつかりにくい/子どもの数がすくない/高齢になるとほっとバス錦までの移動がづらい/横長の地形で集まりにくい/市民センター・地域行事への参加が少ない/地域での活動(ボランティア、サロン、きのこ、野菜づくりなど)を知らない人がいる/情報が一方通行/はじめの一步をふみだすのが難しいと感じる人が多い/有償ボランティアが発足していない/ボランティアをする人が決まっている/子どもの孤食がある/地域内に医療機関がない/子どもが安全に自由に遊べる公園がない など
解決策	行事に参加しやすいように全体で盛り上げる/イベントに魅力を増やす/役員だけではなくみんなで決める/若い世代をまきこんだ人づくりをする/地域伝統継承のイベントを継続して実施(餅つき・しめ縄づくり・家庭料理大集合)/ふるさとパークの活用をふやす/行事に参加してくれない人への呼びかけ方を考える/回覧板ではなく地域情報アプリで発信する/各地区の身近な場所での活動を増やす/地域の行事に子どもたちも参加(参画)してもらえるようにする/グラウンドゴルフを通して子どもと交流をする など

1 1. 赤目地域

(1) 地域の健康づくりの方向性

㊦ えば楽しく ㊧ わす挨拶 ㊨ が笑う

笑いが聞こえる 赤目のまちづくり

個人がすること	○毎日外にでて、様々な世代の人と笑顔で挨拶をかわします ○バランスのとれた食事、定期的な運動、質のいい睡眠で生活習慣を整えます ○チャレンジ精神や好奇心を持ち続け様々なことに積極的に取り組みます ○近所同士で声をかけあって、地域の行事やイベントに参加し楽しめます ○がん検診、特定健診、歯科健診を定期的に受診し、病気の早期発見・早期治療につなげます
地域がすること	○全ての世代が思いや考えを発信し、みんなの声が反映されたイベントを企画します ○学校と保護者と協働しながら子どもたちの健やかな成長のためにコミュニティスクールをすすめます ○地域支え合い事業（あんしんねっと赤目）を充実させ、だれもがいつまでも暮らしやすい地域にします ○ゆめひろばを活用した、みんなで体を動かせる取組を考えます ○赤目地域の資源の情報を広く届けられるように、情報発信の方法を工夫します ○赤目まちじゅう元気プロジェクトを継続させ地域主体の健康づくりの取組を続けます
行政がすること	○地域との協働で特定健診/がん検診の継続実施・啓発をします ○まちの保健室や赤目まちづくり委員会と連携し、地域での健康づくり・介護予防を継続実施します ○地域の課題やニーズに応じて庁内関係部署の連絡調整を図ります ○健康づくり推進のための情報発信をします

(2) ワールドカフェで出された意見

テーマ	主な意見
健康な姿、健康な地域って？	子どもから高齢者までみんなが元気/世代間交流がある/地域の子もたちが安心して暮らせる/名前を呼び合える仲/子どもたち同士のつながりが強い/地域づくりが活発/挨拶がとびかうまち/心もからだも健やか/にこにこ笑う/体調管理をしっかりする/バランスのとれた食事をする/食前に野菜を食べる/健(検)診をうける/家族が仲良し/笑いがたえない/自分のことは自分でできる/目的をもって一日一日を大切にする/体を動かす/チャレンジ精神をもつ/好奇心を持ち続ける/日常の小さな幸せを感じ取る/お互いを認め合える など
地域課題	子どもの数が年々減少している/働く場が少ない/地域に若い人が残らない/次の担い手が見つかりにくい/高齢者が自宅にとじこもりがち/高齢ドライバーが増えている/イベントへの参加率が低い/受け身の人が多い/あんしんねっと赤目が十分に周知されていない/情報がいきわたりにくい など
解決策	自分のこととして考える/気軽に話し合える場を持ち続ける/子どもや若い世代の意見を取り入れた企画をする/一期一会を大切にする/子どもたちが赤目に愛着を持ち続けられるような取組をする/子どもに親の背中をみて育ててもらえるように、子育て世代が頑張る/全世代の思いや考えを行事などに反映させる/子育て支援を充実させる/赤目まちじゅう元気プロジェクト(食事・運動・健康)を継続させる/次の担い手を育てる/サロンを「～に集まろう♪」という呼び名にして参加しやすい雰囲気にする/あんしんねっと赤目を広く周知する など

12. 箕曲地域

(1) 地域の健康づくりの方向性

ぴーちぴち！みんなが笑顔で健康づくり

個人がすること	○笑顔での挨拶や、近所との交流など人とのつながりを大切にします ○子どもの登下校時に「いってらっしゃい」「おかえり」と声をかけ子どもを見守ります ○がん検診や特定健診を定期的に受診し、病気の早期発見・早期治療につなげます ○食事、運動、睡眠の生活習慣を整えます
地域がすること	○集会所や集議所を活用し地区ごとでの健康づくりを推進します ○地域全体の健康づくり事業を推進します ○地区同士の情報交換の機会を持つことで、地区同士のつながりを強めます ○サークル活動などに、男性も自然と参加したくなるような呼びかけ方や運営内容を検討します ○小中学校（PTA）と連携し、子どもとその保護者、高齢者が一緒にできるイベントを企画します ○転入者や外国人が地域活動（昔ながらの行事や遊び、田植え、稲刈り、餅つきなど）を一緒にできるよう検討します ○高齢者が子どもと一緒に過ごす場を作ります ○配食サービスや移動支援などの生活支援について検討します ○防災対策を、出前トークや防災訓練を通して強化します
行政がすること	○地域と協働して特定健診の継続実施や、がん検診の啓発に取り組みます ○まちの保健室や地域づくり委員会と連携し、地区ごとでの健康づくり・介護予防を継続して実施します ○健康づくり推進のための情報を発信します

(2) ワールドカフェで出された意見

テーマ	主な意見
健康な姿、健康な地域って？	夢をもち行動できる/いきがいがある/自分が好きなように暮らせる/自分のことは自分でできる/趣味をもって楽しく生活できる/お互いに助け合える存在がいる/昔からのつながり・つきあいが大切にされる/楽しく近所の人と話せる/人と出会う/外に出る/サークル活動等に参加する/挨拶がかわせる/笑顔があふれる/一日三食、一汁三菜食べる/家族そろって食事をする/睡眠をしっかりとる/煙草を吸わない/お酒は適度にのむ/ストレスをためない/子どもが走りまわる町内/子どもへの声掛け、挨拶がある/心も体も健康/健（検）診受診率が高い/医者にかかる人が少ない など
地域課題	高齢化が進んでいる/高齢者が外に出る場が少ない/独居高齢者が多い/軽い運動のできる場所がない/男性のサロン等への参加が少ない・呼びかけても出てこない/交通の便が悪い/車で買い物に行けなくなったら困る/空き家が増えている/区・小場ごとの活動状況がわからない/転入者との交流が難しい/若い人が外に出て行ってしまう/外国人が多い/子どもの数が少ない/子どもと高齢者との交流が少ない/8・3運動の継続実施が難しい/防災対策（特に水害）が不十分 など
解決策	区・小場ごとの活動の情報交換の機会をつくる/サロンや体操等に参加し元気になる/サロン等に出てこない人には声掛けをして体操を教える/集会所・集議所の利用を充実させる/地区同士の付き合いをもつために一緒にスポーツ大会等を行う/近所同士の交流をもち、日頃から仲良くしておくことで困ったときは協力し合えるようにする/小・中学校（PTA）をまきこみ、子どもと高齢者のつながりを強める（敬老会を小学校でしたり、敬老会で子どもから手紙を渡す）/子どもの見守りやサポートに地域の方も入ってもらう/8・3運動の推進/出前トークなどでハザードマップの理解を深める/家から出られない人に食事を届け話をする/年配者が昔遊びを子どもに教える場所時間を作る など

13. 青蓮寺・百合が丘地域

(1) 地域の健康づくりの方向性

健康寿命 100 歳 生きがいプロジェクト

個人がすること	○まずは家庭から、ご近所から笑顔で挨拶します ○姿勢を正し、歩いたり体を動かします ○腹八分目、バランスのとれた食生活を心がけます ○趣味や好奇心を大切に、刺激のある生活を送ります ○健（検）診を定期的に受診して、病気の早期発見や治療と生活習慣改善に努めます ○ご近所間で声を掛け合い、誘い合える、助け合える関係を目指します
地域がすること	○青蓮寺、百合が丘、南百合が丘がお互いを理解し、親しみを持てるようなイベント（マップ作りなど）をします ○地域内の小学校、高校、看護学校、高専寮、病院、福祉事業所等と一緒に誇れる青蓮寺・百合が丘地域を目指します ○8・3運動やほめほめ隊、ジュニアサポーターなどの活動を継続します ○子ども、働き盛り世代、高齢者が交流できるイベントをします ○青蓮寺・百合が丘地域だけでなく、番町単位で交流できる場をつくりまします ○イベントや取組の広報を工夫し、すべての住民に情報を届けます ○男性が参加しやすいイベントを企画し、地域づくり活動を活性化します
行政がすること	○まちの保健室と連携し、他地域での良い取組の紹介を含めた健康づくり・介護予防のための情報発信と取組を継続します ○特定健診、がん検診、ロコモ健診について周知し、継続実施します ○地域から地域をこえて取り組むべき課題についての提案等があった時には、地域間の架け橋の役割を担います

(2) ワールドカフェで出された意見

テーマ	主な意見
健康な姿、健康な地域って？	歩ける/自分の好きなところに行ける/楽しみ・生きがいを持っている/笑顔であいさつ/自己管理/隣近所が友達/参加しやすい催しがある/自分で食事ができる/住民が主体的/朝起きて体が軽く感じる/人と人との交流がある/食生活が健全/腹八分目/心くばりができる/話すこと/好奇心を持つ/趣味が続けられる/自分のペースを守る/井戸端会議が多い/歌ったり、語ったりできる場がある/意欲的、積極的/こどもや高齢者への声掛け/百合小こどもクラブでの関わり/子どもの笑い声が聞こえる/自分たちの地域を知り、愛着が持てる など
地域課題	強み：子育てがしやすいまち/若い世代が移り住むまち/健康づくりに力を入れている/総合スポーツの取組がある/あいさつ運動・ほめほめ隊による学習支援/ゆこゆこ、学校、病院、福祉事業所などがある 弱み：子どもが少ない/閉じこもりがちで高齢者が多い/人とかかわりを持ちたがらない人がいる/高齢者世代・子育て世代間の交流が少ない/回覧板の情報が伝わらない（見ないで回す）/情報交換の場がない/坂道があり、バスの便が不便など移動が辛い/親類縁者が近くにおらず、病気や高齢などのきっかけで生活が成り立たなくなる/共働きが増えて昔に比べてゆとりがない子育て世代/あいさつしても返してくれないことがある/地域活動への参加が少ない/住んでいても、地域のことをよく知らない など
解決策	笑顔であいさつする/家庭教育をしてもらった上で、地域での見守り・支援が生きてくる/老人クラブと子ども会の合同新年会など、交流の場を大切にする/近所・知り合いから声をかけてもらえれば、最初の一步を踏み出す勇気が出る/地域にある資源とウィンウィンな関係を築く/イベントや取組のコーディネート力・PR 力をつける/ゆりバスの運行（経路・時間・台数・段差）を改善する/広報の工夫/個人が健康になれば、周りが健康になり、地域全体も健康になる…まずは自己管理に努める/シャイな男性を地域に引っ張り出すために、ビアガーデンやBBQ、ゴルフなどのイベントを開催/雇用+魅力づくり+交通の便の改善を目的に、名張市中に路面電車を走らせてサンフランシスコみたいになったら素敵/地区や地域間での交流/顔の見える関係づくり など

14. 国津地域

(1) 地域の健康づくりの方向性

人と人との絆を感じ、生き生き暮らせる生涯現役の国津

個人がすること	○何事もすすんで参加します ○趣味を持ちます ○体を動かします(畑仕事、散歩、体操など) ○外にでて交流をします ○規則正しい生活を送ります(よく食べて、よく寝る) ○ストレスをためません(自分の考えをポジティブに考える) ○休肝日を作ります ○特定健診を受けます(近所の人にも受診を勧める) ○病気の早期発見、早期治療をします ○あいさつをします ○目標をもちます ○病気があってもうまくつきあいます(定期受診など) ○サロンに行くときは、近所の人を誘い合って出かけます ○地域のイベントに参加します ○あららぎ号に年1回は利用します。(利用回数を増やす)
地域がすること	○地区ごとに週1回集まれる機会を作ります(運動する機会を作る) ○青空市をPRし、地域の方や地域外の方との交流を図り、健康づくり、生きがいづくりへとつなげます ○お互いの見守りをします ○サークル活動をPRできる場を作ります ○あららぎ号のPRをします ○ノルディックウォーキング、国津ぶらりウォーキング等のイベントを開催します(ケンコー！マイレージを利用して地域外の方の参加もいれ、国津の魅力を発信) ○男性が参加しやすいイベントの企画します ○くにつふるさと館、長瀬市民センターなどで健康づくりについての講演を実施します
行政がすること	○まちじゅう元気リーダーの人材育成・支援を行います ○まちじゅう元気リーダーや地域づくりとともに健康づくり、介護予防に関する企画をします ○まちの保健室と連携し、健康づくり・介護予防のための情報発信をします ○特定健診の受診勧奨と国津地域で特定健診を実施します ○ケンコー！マイレージの周知します

(2) ワールドカフェで出された意見

テーマ	主な意見
健康な姿、健康な地域って？	何事も参加する/料理作りで健康になる/体を動かして楽しく過ごす/みんなと話し合いをする/何か目的を持つ/家族仲良く笑顔で過ごす/自分の考えをポジティブに心を持つ/野菜作りで村おこし/本を読む/一日の予定を立てて動く/一年間の目標を持って目標に向かって頑張っていく/毎日体を動かしたり運動する/趣味を持つ/外に出て友達を作る/バランスの良い食事をしっかり3食とる/睡眠をしっかりとる/笑顔であいさつをする/ストレスを発散する/自分のことは自分です/早寝早起き/畑ができる/好きなことをする/煙草を吸わない/サロンに参加する/地域の人とお酒が飲める/みんなが輝いてる/いきがいをもつ/仲間で散歩/自分の仕事がある/人と人との交流を大事にする/1人で悩まず相談する/家に閉じこもらないで外出する/笑顔でいる/感謝の気持ちを大切に/前向きな気持ちで生活する/緑豊かな所が国津の自慢/空気・水が綺麗/おもいやりをもって声をかけあう
地域課題	移動手段がない/高齢社会/交通機関がない/バス停まで歩いて行けない/バスの乗り継ぎが大変で時間の調整が難しい/地域の作業が高齢になり負担になっている/近所が離れているため緊急時の対応が難しい/サロンに男性の参加が少ない/サロンに参加しない人もいる/買い物、病院受診が不便/働く場がない/若者が定住しない/一人暮らしが多い/空き家が増えている/猪、鹿、猿、アライグマ等が畑に出没/健康体操を実施する場がない/地域で集える場所が少ない/健康講座(歯の講座)などに参加しにくい/人口が少ないので1人の役割が多い/若者が少なく後継者不足/人口減少/子どもが少ない/老々介護をしている人が多い/詳しい介護サービスが分からない
解決策	みんなが集まれる企画(例:野菜等の食材を持ち寄って料理を行い楽しみながら話をする)/買い物や移動等を助け合う(有償ボランティアの検討)/交通手段の充実/全国津地域でみんなでウォーキング/国津産の米を広げる/移動販売車があればいい/ノルディックウォーキングをする/男の人の集まる場を作る(男性が集まりやすいサロンで例えば炭窯愛好会など)/地域ごと、個人ごとの健康カード(病歴記載)を作る/サロンのメニューの工夫(体操・麻雀など)、気楽に参加できる工夫/閉じこもりにより要介護になることをPR/地域外にいる子どもや孫などとの交流できる場を作る/サークル活動のPR(参加促進)/地域の魅力をアピールする/畑や庭を見て回れる散歩コースを作る/老人と言われる人が若い気持ちで生活する/気楽によもやま話をする/ケンコー！マイレージを活用する/かかりつけ医をもち健診を受診する/個人の健康管理をきちんとする/買った物等を自宅に届けてくれるサービスを利用する/国津園のイベントに参加する

15. 桔梗が丘地域

(1) 地域の健康づくりの方向性

今日も元気に 1・2・3 ～さわやかな風が街を抱む～

個人が すること	○笑顔で挨拶をかわし、顔見知りの関係作り、必要な時は隣近所で助け合うことを意識します ○環境整備など地区の活動に参加します ○ボランティア活動に関心と感謝の心を持ちます ○子どもの登下校時や放課後に家の外に出て、声をかけ、子どもの安全や暮らしを見守ります ○情報収集と友人や近所同士で誘い合い、ラジオ体操や地域の行事に積極的に参加します ○バランスのとれた食事、定期的な運動、質のいい睡眠で生活習慣を整え、生涯現役をめざします
地域が すること	○桔梗が丘、桔梗が丘南、桔梗が丘西（以下：3地区とする）が交流し、親しみが持てて助け合えるような行事の企画をします ○ラジオ体操の継続と充実を図ります（番町ごとでの推進、多世代で取り組める工夫） ○集会所や新しいコミュニティスペース作りを検討し、地区内の多世代の交流と居場所へとつなげます ○子ども、働き盛り世代、高齢者の交流を図るため、保育所や幼稚園、学校、子そだてサロン、子ども会とさらなる連携をし、「ふるさと愛」と「生きがい」の創造につなげます ○健康づくり、世代間交流、環境学習、子どもの見守り等、一つの活動から多目的につながる企画を部会同士が協力し、継続・発展させます（例；通学路花いっぱい運動） ○男性や若い世代が日常の中で自然に参加して健康づくりにつながる、防犯防災や環境整備活動との連動を図ります。地域づくりの思いを継承する若きリーダーの発掘と育成に努めます ○効果的な情報発信の工夫します ○様々な活動や支援にコーディネーターの役割を設けます
行政が すること	○まちの保健室や地域と連携し、健康づくり推進のための情報発信と3つの地区ごとの課題やニーズに合った健康づくり・介護予防の取り組みを継続します ○まちじゅう元気!!リーダーの人材育成を行い、地区ごとでの取り組みと活動支援をします ○地域との協働で特定健診、がん検診の啓発と実施を継続します ○医療や福祉、教育、環境など行政内の部署や社会福祉協議会等との連携を図り、子育て支援や健康づくりの取り組みを連動させ、地域課題の解決や活性に努めます

(2) ワールドカフェで出された意見

テーマ	主な意見
健康な姿、 健康な地 域って？	笑顔で毎日を過ごせる/仕事と運動がつながっている/バランスのとれた食事や質のいい睡眠がとれる/生きがいがある/自分のことが自分でできる/サークル活動等への参加がある/世代をこえたつながりがある/ラジオ体操/挨拶が明るく会話を楽しめる/まちじゅうに明るい声が聞こえている/高齢者が地域で活動をしている/お互いが助け合う/子どもの遊ぶ姿がある/小学生の登下校の見守りがある/子どもが安全に近所を歩く/子どもが命を大切にする
地域課題	サークル活動等に参加する人が固定化し高齢者が多い/男性がいきいきできる場がない/よくバリ青春体操やスクエアステップへの若い人の参加が少ない/だれがどこに住んでいるかわからない/3地区同士の交流がない/移動手段がないと自立した生活が送れない/世代関係なく集まれる集会所が近くにない/若い世代の地域づくり活動への参加が少ない/子どもと地域の関わりが少ない/子どもが安心して遊べる場所がない/子ども会の加入者減少/倦怠感がある子どもが多い/進学や就職で子どもが市外に出て戻らない/ボランティアメンバーの固定化・不足・地区差がある/地域づくりの担い手の不足、思いを引き継ぐ難しさ/空き地の防犯上の心配/道路標示が消えたままで危険
解決策	介護予防のための運動の機会を増やす/挨拶や声かけでゆるい関係を作る/地域の健康づくりや祭などの行事に積極的に参加/隣近所の助け合い、子どもと大人、大人同士も顔見知りの関係を大切に/生涯現役、いくつになっても人の役に立てると考える/防災やクリーン活動等を通じて若い世代や桔梗が丘の地区同士の交流の機会を作る/子どもから高齢者まで参加できるイベントを行う/中学が一つになり桔梗が丘全体の交流を意識/学校や地域が連携し里山体験等のイベントを行う/自然を学ぶ・子どもの見守り・交流を目的に「花いっぱい運動」継続/集会所の解放で子どもの居場所/コミュニティの場で朝夕ごはん提供/草刈の後に男性の交流/小地区の中で防災訓練など絆を深く/乳幼児も高齢者も孤立防止に訪問の機会の活用と仕組み作り/退職後の男性へのボランティアや行事参加の働きかけを切れ目なく行う仕組み/日常生活の中で健康づくりに取り組む/防犯など他の目的を機会にリーダーを発見・育成/得意分野で力を発揮、興味のある分野でボランティア活動や地域づくりの役割を紹介し勧誘する/参加したくなるネーミングの工夫/インターネットの活用で経費削減、効果的な情報提供/活動者とニーズを結ぶコーディネーターの存在

第6章 計画推進のために

1. 計画の推進体制と管理、運用

この計画に基づき、名張市まちじゅう元気推進協議会をもとに施策の実施、評価を行い、計画の的確な進行管理を行います。また、行政評価制度と連動しながら、評価結果に基づき、必要に応じて計画や実施体制・方法などを見直し、継続的な改善を進めます。また、社会、経済環境の変化への機動的な対応を行うとともに、各地域の実情や住民の意向を反映した施策展開を進めるため、この計画に定める基本的な考え方や方針の下に、必要に応じて柔軟に施策や推進方法を見直すなど適切な計画の運用を行います。

名張市まちじゅう元気推進協議会 構成委員

所 属	氏 名	備考
名賀医師会	東 明彦	会長
伊賀歯科医師会	松本 卓也	副会長
名賀保険薬局会	山本 敦子	
名張市地域づくり代表者会議	時枝 民生	
名張市小中学校長会	森脇 洋	
伊賀保健所	島田 晃秀	
八幡工業団地管理組合（日立化成株式会社）	藤原 泰弘	
三重県地域活動栄養士連絡協議会 伊賀支部	奥田 のぶ子	
名張市食生活改善推進協議会	清水 登代子	
名張市ボランティア楽食会	石本 公子	
名張市教育委員会教育総務室	大西 哲	

第4次健康なばり21計画 第2次歯と口腔の健康づくり計画策定の経過

		まちじゅう元気推進協議会	備考
令和 元 年 度	6月	○第1回まちじゅう元気推進協議会（6/26） ・第3次健康なばり21計画実績報告 ・第4次健康なばり21計画策定について ・第4次健康なばり21計画スケジュール	
	8月	○第2回まちじゅう元気推進協議会（8/2） ・第4次健康なばり21計画骨子案について ・第4次健康なばり21計画施策の構成図と 目標項目について	
	9月	○第3回まちじゅう元気推進協議会（9/18） ・第4次健康なばり21計画（素案）について	
	10月		○主管室長 会議（10/17） ○庁議（10/25）
	11月	※第4次健康なばり21計画 第2次歯と口腔の 健康づくり計画の市民への公開、意見聴取 （パブリックコメント）11/18～12/17	○教育民生委 員会協議会 （11/12）
	12月	○第4回まちじゅう元気推進協議会（12/18） ・パブリックコメントの意見募集結果報告 及び第4次健康なばり21計画 第2次歯と 口腔の健康づくり計画（案）について	
	1月		○主管室長 会議（1/9） ○庁議（1/16）
	2月		○教育民生委 員会協議会 （2/7）

名張市役所福祉子ども部健康・子育て支援室

〒518-0492 三重県名張市鴻之台1番町1番地

T E L 0595-63-6970

F A X 0595-63-4629

メール health@city.nabari.mie.jp